

令和4年度 実施計画書

教育委員会事務局

教育総務室

# 教育総務室

## 運営方針

### 1. 部内組織

部長	大湾 喜久男	構成課等	教育総務室	

### 2. 暮らしの夢(総合計画基本構想より)

- 3 子どもや若者が、それぞれの個性を育み、のびのびと遊び、学ぶ暮らし

### 3. 部の重点的な取り組み

中長期的にみた重点的取り組み	今年度の重点的取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育大綱の推進</li> <li>・教育委員会の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会活動の充実</li> <li>・教育環境の変化へ対応するための総合調整</li> </ul>

### 4. 施策の柱と目的

施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策	所管課等
教育委員会活動の充実	教育委員会の事務局として、教育長及び教育委員が学校等教育施設の視察研修等を通じて、教育現場の実情の把握に努め、それぞれの識見を發揮できるような環境を創出するとともに、教育委員会会議の一層の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秘書に関する事務</li> <li>・教育委員会会議の活性化</li> <li>・教育委員研修の充実</li> </ul>	教育総務室
総合的な教育行政の運営	教育環境が大きく変化するなか、教育委員会事務局組織の円滑な運営のため、各部課間の連絡・調整を図り、事務が適切に執行できるよう総括的な役割を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局の総合調整</li> <li>・学校教育審議会の運営</li> <li>・教育に関する事務の点検評価</li> </ul>	

### 5. 部の課題と解決に向けた取り組み

部の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員の教育施設の視察の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設の現場視察を精力的に行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業の複雑化、多様化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な事務の推進。</li> </ul>

# 教育総務室

1. 課の目的	
教育行政が公正かつ適正に運営されるよう、適切な情報提供や教育委員研修の充実、また、その権限に属する事務の執行状況の点検評価など「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく、教育委員会活動の充実を図る。	
2. 課の所掌する施策	
1 教育委員会活動の充実	2 総合的な教育行政の運営
3. 課の課題と解決に向けた取り組み	
課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
事務事業の増加と事務の複雑化	効率的な事業運営と応援体勢の確立
4. 業務のスマート化	
進める上での課題	課題解決に向けた取り組み
業務手順が一定しない	業務マニュアルの作成

# 教育総務室

施策 1		教育委員会活動の充実	
SDGsとの関係	G4教育		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		20	子どもたちが、しっかりとした基礎学力を身につけている
		23	地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている
目的		教育委員会の事務局として、学校等の教育施設への視察や各種の研修を通して、教育の実情の把握に努め、各委員が見識を発揮できるような環境を創出するとともに、教育委員会会議の一層の活性化を図る。	
今年度の目標		教育委員の見識を深めるための視察・研修等の充実を図る。	
関連する法令等	法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	
	条例・規則	交野市教育委員会会議規則	
	計画	交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン、交野市生涯学習基本計画	
	要綱等		
	業務マニュアル	教育委員会定例会議マニュアル	
	ネットワーク	大阪府教育委員会及び市町村教育委員会	

事業 1		教育委員会会議の活性化		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
拡大・重点化	概要	委員会の日程調整及び資料作成等、会議の運営管理 審議に必要な情報の収集及び提供		1	定例会等の開催	12	13	15
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	3,131千円	3,032千円	3,082千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 2		教育委員の研修の充実		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	教育委員の見識を深められる研修の実施や他の自治体・協議会等の研修会への参加		1	委員研修会	1	0	0
				2	その他研修	14	13	10
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	237千円	3千円	0千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 3		秘書に関する事務		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	教育長のスケジュール、交際費等の管理及び教育委員会会議等の日程調整		1	—	—	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	0千円	0千円	0千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

# 教育総務室

施策 2		総合的な教育行政の運営	
SDGsとの関係	G4教育		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	18 子どもたちの未来に明るい希望がある		
	23 地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている		
目的	教育委員会事務局組織の円滑な運営のため、各部課間の連絡・調整を図り、事務が適切に執行できるよう総合的な役割を担う。		
今年度の目標	教育行政を公正かつ適正に運営するための情報提供や共有の徹底及び教育委員会の事務の管理執行状況の点検評価報告書の速やかな作成		
関連する法令等	法令	地方自治法、学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律	
	条例・規則	交野市学校教育審議会条例	
	計画	交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン、交野市学校教育ビジョンアクションプラン、交野市生涯学習基本計画、交野市教育施策、交野市学校規模適正化基本計画、交野市学校施設等管理計画	
	要綱等	教育に関する事務の外部評価委員に関する要綱	
	業務マニュアル	学校教育審議会業務マニュアル	
	ネットワーク	外部評価委員、交野市PTA協議会、市立小中学校校長会、区長会	

事業 1		教育委員会事務局の総合調整		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
拡大・重点化	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>調整会議の開催、情報共有、計画等の取りまとめ</li> <li>災害対応における教育委員会事務局の全体調整</li> <li>突発的事項対応の支援</li> </ul>		1	—	—	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	0千円	0千円	0千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 2		学校教育審議会の運営		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	審議会の運営及び調整		1	審議会の開催	9	7	10
				2	その他研修			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	1,139千円	857千円	1,104千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 3		教育に関する事務の点検評価		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づく教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検評価を毎年行う。		1	事務事業評価	1	1	1
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	60千円	60千円	60千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—



令和4年度 実施計画書

# 学校教育部

まなび舎整備課

学務保健課

# 学校教育部

## 運営方針

### 1. 部内組織

部長	和久田 寿樹	構成課等	まなび舎整備課	学務保健課

### 2. 暮らしの夢(総合計画基本構想より)

- 心も体もいきいきと、思いやり、心(情)の通う暮らし
- 子どもや若者が、それぞれの個性を育み、のびのびと遊び、学ぶ暮らし

### 3. 部の重点的な取り組み

中長期的にみた重点的取り組み	今年度の重点的取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数減少に伴う学校課題への対応</li> <li>・学校施設の老朽化対策、計画的改修</li> <li>・経済的に就学が困難な児童生徒への支援</li> <li>・児童生徒の健やかな成長の確保</li> <li>・通学路の安全対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一中学校区魅力ある学校づくり事業の推進(市長戦略)</li> <li>・学校施設の維持修繕・老朽化対策(市長戦略)</li> <li>・就学支援制度の充実(市長戦略)</li> <li>・通学路の安全対策の実施</li> </ul>

### 4. 施策の柱と目的

施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策	所管課等
魅力ある学校づくり	交野市学校規模適正化基本計画及び交野市学校施設等管理計画で、学校適正配置を具体的に示した学校の施設整備の方向性を定め、整備を図る。	第一中学校区魅力ある学校づくり事業の推進 交野市学校施設等管理計画の推進	まなび舎整備課
安全で快適な学校環境の整備	学校施設の計画的な整備による、安心な教育環境を確保する。また、通学路における安全対策に取り組む、登下校時の安全を確保する。学校保健の充実を図り、児童生徒及び教職員の健康管理を行う。	学校施設の維持修繕	まなび舎整備課
		通学路の安全対策	学務保健課
		学校保健の充実	
		各種健康診断の実施	
経済的理由により就学が困難な児童生徒への教育の機会均等	経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、学用品経費等の一部を支給することにより、保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等を図る。	就学支援の充実	学務保健課

### 5. 部の課題と解決に向けた取り組み

部の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
学校施設の老朽化、児童・生徒の減少	各種計画の推進と学校施設の計画的な維持修繕
通学路の安全対策	ハード、ソフトの両面からの安全対策
教育の機会均等	保護者への支援、各種制度の充実



# 学校教育部

## まなび舎整備課

### 1. 課の目的

全ての児童・生徒が、安全な施設、学習しやすい環境の下で、学校生活が送れるよう充実を図る。

### 2. 課の所掌する施策

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1 学校施設の整備及び安全確保 | 2 魅力ある学校づくり |
|-----------------|-------------|

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・学校施設の老朽化対策や安全対策及び防災機能強化	・計画的な工事の実施、学校施設環境改善交付金等の活用
・小中一貫教育に対応した学校環境づくり	・学校施設等管理計画に基づく学校施設の整備を推進
・学校現場との適切かつ迅速な連携の強化	・入念な連絡調整の実行、イントラネットの活用

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
課内の情報の共有化	・朝礼及び定期的な課内会議の実施
庁内他部署との連携や協力体制	・各関係部署との連携を強化し、情報共有を徹底
人材育成・ノウハウ継承	・適切な事務分掌に基づくOJTの実施 ・業務マニュアルの適宜追記、改正 ・各種関係資料の適切な保管・管理及び有効活用

## 学務保健課

### 1. 課の目的

全ての児童・生徒が学習しやすい環境の下で、将来の展望を抱き、健康的に学習生活を送れるよう充実を図る。

### 2. 課の所掌する施策

- |                     |           |
|---------------------|-----------|
| 1 学校備品等の整備及び通学の安全確保 | 2 学校保健の充実 |
| 3 就学支援の充実           |           |

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・学校備品の充実	・学校の要望把握
・増加傾向にある障がいをもつ児童・生徒の就学支援	・スクールヘルパー等の適切配置、備品の整備
・学校規模適正化等による新たな通学路の安全対策	・通学路安全プログラム等による通学路の安全確保
・学齢児童・生徒情報の管理	・関係機関との緊密な連携、学事システムの活用
・学校現場との正確且つスムーズな連携	・入念な連絡調整の実行、イントラネットの活用

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
業務量の増加	適正な役割分担と柔軟なサポート体制
他部署との連携や協力体制	入念な連絡調整の実行
課内の情報の共有化	情報や検討結果記録及び資料の保管、整理

学校教育部 まなび舎整備課

施策 1		学校施設の整備及び安全確保			
SDGsとの関係	G4教育	   			
	G5ジェンダー				
	G10不平等				
	G16平和				
	—				
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	12	安心して子どもを生み育てることができる			
	18	子どもたちの未来に明るい希望がある			
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている			
目的	子どもたちの学習及び生活の場としての良好な教育環境を確保するとともに、障がいのある子どもたちにも配慮しつつ、防災・防犯などに対しても十分な安全性を備えた施設整備を行う。また、地域にとって身近で親しみのある公共施設としての役割の充実を図るとともに、景観や街並みの形成にも貢献できる施設の整備に努める。				
今年度の目標	学校施設の防災機能強化、学校施設の老朽化対策及び長寿命化の推進				
関連する法令等	法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校教育法、学校施設の確保に関する政令			
	条例・規則	交野市教育委員会事務局組織規則			
	計画	市長戦略、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市教育大綱、交野市教育施策、交野市学校教育ビジョン、交野市学校施設等管理計画			
	要綱等				
	業務マニュアル	学校施設庶務マニュアル			
	ネットワーク	校長会、教頭会、事務職員会、校務員部会			

事業 1		学校施設の整備・充実			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
拡大・重点化	概要	学校施設の維持・管理(改修工事・修理等)			1	施設改善件数	102	102	131
					2				
	国府補助	学校施設環境改善交付金、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金、学校保健特別対策事業費補助金			予算・決算額(歳出)	314,221千円	337,177千円	269,244千円	
	位置付け	法定	実施形態	委託	うち国府負担額	—	19,350千円	15,470千円	

事業 2		学校校務員適正配置			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
拡大・重点化	概要	学校施設の営繕・簡易補修・維持管理を行うための学校校務員の適正配置			1	配置人数	13	14	14
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	34,352千円	36,983千円	35,731千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

学校教育部 まなび舎整備課

施策 2		魅力ある学校づくり				
SDGsとの関係	G4教育					
	G5ジェンダー					
	G10不平等					
	G16平和					
	G17パートナーシップ					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	12 安心して子どもを生み育てることができる 18 子どもたちの未来に明るい希望がある 23 地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている					
目的	「学校施設等管理計画」で示した学校の施設整備を進めるとともに、「交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業基本方針・基本計画」にのっとり、第一中学校区における魅力ある学校づくり事業を進める。					
今年度の目標	第一中学校区における「(仮称)交野市立交野みらい学園」施設一体型小中一貫校の実施設計に取り組むとともに、現在の交野小学校敷地における既存校舎の解体撤去及び開発造成工事を実施する。					
関連する法令等	法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校教育法、学校施設の確保に関する政令				
	条例・規則	交野市教育委員会事務局組織規則、交野市立学校に関する条例				
	計画	市長戦略、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市教育大綱、交野市教育施策、交野市学校教育ビジョン、交野市公共施設等総合管理計画、交野市公共施設等再配置計画、学校施設等管理計画、交野市立第一中学校区魅力ある学校づくり事業基本方針・基本計画				
	要綱等					
	業務マニュアル	学校施設庶務マニュアル				
	ネットワーク	校長会、教頭会、事務職員会、校務員部会				

事業 1		魅力ある学校づくり			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
拡大・重点化	概要	第一中学校区における魅力ある学校づくり事業			1 新校舎整備事業	実施設計 既存校舎解体撤去・開発造成	DB事業者選定	基礎調査 基本設計 事業手法検討
					2 小学校統合校舎整備事業	仮設校舎賃借料	仮設校舎整備 既存校舎改修	仮設基本設計 既存改修設計
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	1,057,431千円	213,503千円	133,390千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—






学校教育部 学務保健課

施策 1		学校備品等の整備及び通学の安全確保					
SDGsとの関係	G4教育	    					
	G5ジェンダー						
	G10不平等						
	G11都市						
	G17パートナーシップ						
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	23	地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている					
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である					
目的	子どもたちの学習及び生活の場としての良好な環境を確保するとともに、防犯などに対しても十分配慮した児童・生徒の通学の安全性の確保に努める。						
今年度の目標	学校教材・備品および図書の充実 登下校の安全性の向上						
関連する法令等	法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校教育法、学校施設の確保に関する政令					
	条例・規則	交野市教育委員会事務局組織規則、交野市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則					
	計画	市長戦略、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市教育大綱、交野市教育施策、交野市学校教育ビジョン、学校規模適正化基本計画、学校施設等管理計画					
	要綱等						
	業務マニュアル	学校施設庶務マニュアル					
	ネットワーク	校長会、教頭会、事務職員会、校務員部会					

事業 1		教材・教具備品等の充実			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	学校教材等の充実 (教材・図書備品等の購入)			1	購入件数	185件	177件	155件
					2				
	国府補助	理科教育設備整備等補助金			予算・決算額(歳出)	17,116千円	15,809千円	39,902千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	800千円	743千円	24,188千円	

事業 2		通学路の安全管理			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
拡大・重点化	概要	通学路安全プログラムの取りまとめ 登下校見守りシステムの実施 注意喚起看板設置 開発事前協議 交野みらい小学校区での見守り人員配置			1	注意喚起看板等設置数	10か所	30か所	10か所
					2	登下校見守りシステム利用者の増加	システム利用率 70%	システム利用率 60%	システム利用率 57.5%
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	10,208千円	2,223千円	215千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

学校教育部 学務保健課

施策 2		学校保健の充実				
SDGsとの関係	G3保健					
	G4教育					
	G5ジェンダー					
	G10不平等					
	G17パートナーシップ					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	16 病気にならないよう予防や衛生環境に気をつけている 18 子どもたちの未来に明るい希望がある 23 地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている					
目的	児童・生徒及び教職員の健康を保持増進する。					
今年度の目標	児童・生徒及び教職員に対する各種健康診断の実施による、健康の維持管理の向上 学校管理下における児童・生徒の怪我等に対する医療費の適正な給付 学校環境衛生基準に基づく、教室等の環境調査の実施					
関連する法令等	法令	学校保健安全法、学校環境衛生基準				
	条例・規則	交野市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則				
	計画	交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン				
	要綱等					
	業務マニュアル					
	ネットワーク	交野市学校保健会、交野市小・中学校心臓検診協議会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、校長会、教頭会、養護教諭部会、保健主事部会等				

事業 1		児童・生徒の健康管理			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	学校における児童・生徒の健康診断や健康の保持増進を図る活動への支援(ブラッシング指導や学校保健会事務等)			1 治療勧告者数	—	2,831人	2,827人
					2 ブラッシング指導	小学校3・5年生 各学級年1回	小学校3・5年生 各学級年1回	— (新型コロナウイルス感染症のため未実施)
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	25,155千円	24,437千円	23,087千円
	位置付け	法定	実施形態	委託	うち国府負担額	—	—	—

事業 2		就学時健康診断			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	就学前児童のための健康診断の実施			1 内科検診受診率	100%	98%	98%
					2 歯科検診受診率	100%	97%	96%
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	1,858千円	1,800千円	2,021千円
	位置付け	法定	実施形態	直接・委託	うち国府負担額	—	—	—

学校教育部 学務保健課

施策 2


学校保健の充実

事業 3		児童・生徒の災害保険事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	学校の管理下における児童・生徒の災害(負傷、疾病等)に対する医療費等の補償			1	日本スポーツ振興センター災害共済制度による給付件数	—	590件	518件
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	5,610千円	5,516千円	5,542千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接・委託	うち国府負担額	—	—	—	

事業 4		教職員の健康管理			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	教職員を対象とした健康診断の実施			1	受診率	100% (人間ドック受診者込)	100% (人間ドック受診者込)	93.2% (人間ドック受診者込)
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	4,164千円	4,292千円	4,243千円	
	位置付け	法定	実施形態	委託	うち国府負担額	—	—	—	

事業 5		学校の環境衛生事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	教室等の環境調査(換気状況、有害化学物質等)、プール水質検査、施設の消毒等の実施			1	教室等の環境調査実施回数	各校2回	各校2回	各校2回
					2	感染症予防用薬剤散布実施回数	各校1回	各校1回	各校1回
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	4,761千円	5,714千円	381,029千円	
	位置付け	法定	実施形態	委託	うち国府負担額	—	—	—	

学校教育部 学務保健課

施策 3		就学支援の充実			
SDGsとの関係	G1貧困	   			
	G4教育				
	G5ジェンダー				
	G10不平等				
	—				
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	18	子どもたちの未来に明るい希望がある			
	19	困ったとき何でも気軽に相談できる場所がある			
目的	全ての児童・生徒が等しく学校教育を受ける権利を保障するため、法律に基づく学校設置者としての責任を果たすとともに、児童・生徒やその保護者、学校に対する必要な支援を行う。				
今年度の目標	貧困対策を踏まえた経済的な理由により就学困難な児童・生徒の保護者への援助の充実 障がいのある児童・生徒に対する支援の充実				
関連する法令等	法令	教育基本法、学校教育法、学校教育法施行令、学校教育法施行規則、義務教育諸学校における教科用図書の無償措置に関する法律			
	条例・規則	交野市立学校に関する条例、交野市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則、交野市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則、交野市奨学金条例、交野市奨学金条例施行規則			
	計画	市長戦略、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市教育大綱、交野市教育施策、交野市学校教育ビジョン			
	要綱等	交野市就学援助費給付要綱、交野市特別支援教育就学奨励費交付要綱			
	業務マニュアル				
	ネットワーク	大阪府教育庁、校長会、教頭会、事務職員会、養護教諭部会			

事業 1		適正な就学事務の遂行			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	学齢児童・生徒の保護者に就学義務を履行させるための就学時や転出入時における適切な事務の遂行と不適正就学や居所不明児童・生徒の発生防止			1	不就学者 居所不明者	0人	0人	0人
					2	不適正就学者	0人	0人	0人
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	902千円	925千円	961千円	
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 2		就学援助・特別支援教育就学奨励費(学校用品・医療・修学旅行費等の補助)			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対する支援と特別支援教育の普及を目的とした障がいのある児童・生徒の保護者に対する経済的負担の軽減			1	支援人数	989	859	876
					2				
	国府補助	要保護児童生徒援助費補助金、特別支援教育就学奨励費補助金			予算・決算額(歳出)	51,983千円	54,837千円	32,908千円	
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	4,772千円	4,320千円	2,917千円	

学校教育部 学務保健課

施策 3

就学支援の充実

事業 3		学校活動の円滑な推進			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	児童・生徒の急病・怪我等の緊急時における病院等への搬送支援や教師用教科書・指導書の整備			1	緊急時の タクシ-利用	—	350件	441件
					2	教師用教科書 ・指導書の整備	小・中学校不足分整備	小学校不足分整備	・令和3年度小学校全教科の新規整備 ・中学校不足分整備
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	1,387千円	1,316千円	7,350千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 4		教育資金の支援			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	経済的な理由により高校・大学等への就学が困難な者に対する奨学金の貸付と高校以上の学校への進学予定者、又は在学者に対する教育貸付金の利子の一部補給			1	交野市奨学金	3人	3人	3人
					2	おりひめ教育 ローン補助制度	5人	1人	1人
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	102千円	20千円	20千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 5		進路選択支援事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	奨学金活用の相談支援			1	相談体制	3人	2人	2人
					2				
	国府補助	大阪府総合相談事業交付金			予算・決算額(歳出)	480千円	458千円	363千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	380千円	458千円	363千円	

事業 6		学校活動への参加にサポートを必要とする児童・生徒への支援			指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	障がいをもつ児童・生徒が学習活動に円滑に参加するための必要に応じた人的(スクールヘルパー、看護師)・物的(補聴器付属機器)支援と肢体不自由児童・生徒の機能訓練への支援(検診)			1	スクールヘルパー 配置 看護師の配置 補聴器付属機器の 貸与	—	29人 0人 1人	19人 2人 1人
					2	肢体不自由児童・ 生徒検診の実施	年度3回	年度3回	年度3回
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	76,752千円	63,568千円	53,366千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	



施策 3

就学支援の充実

事業 7		教育ネットワークに関する事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	就学事務に係る情報共有のための学事システム及び教育ネットワークの維持・管理			1	学事システムの維持管理	—	学校統合によるシステム改修	突発的トラブルに対する保守対応
					2	教育ネットワークの維持管理	—	—	突発的トラブルに対する保守対応
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	—	1,716千円	19,179千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	



令和4年度 実施計画書

# 学校教育部

指導課

まなび未来課

学校給食センター

# 学校教育部

1. 部内組織			
部長	足立 多恵	構成課等	指導課 学校給食センター
			まなび未来課
2. 暮らしの夢(総合計画基本構想より)			
1 心も体もいきいきと、思いやり、心(情)の通う暮らし			
3 子どもや若者が、それぞれの個性を育み、のびのびと遊び、学ぶ暮らし			
3. 部の重点的な取り組み			
中長期的にみた重点的取り組み		今年度の重点的取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市長戦略」「交野市教育大綱」の理念の実現</li> <li>・児童生徒の情(こころ)を育み、「変化する力・変化に対応する力」を育成(学校教育ビジョン)</li> <li>・児童生徒数減少に伴う学校課題への対応</li> <li>・児童生徒の健やかな成長の確保</li> <li>・学校の規模適正化及び適正配置</li> <li>・安全で安心な学校給食の提供</li> <li>・学校給食センター調理部門の民間委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育の取組みの充実(市長戦略)</li> <li>・言語活用力の向上、外国語教育の充実、プログラミング教育の推進</li> <li>・学校ICT環境の充実と利活用</li> <li>・第一中学校区におけるコミュニティスクールの導入</li> <li>・方向性の定まっていない市立小中学校の適正配置の検討</li> <li>・学校給食センター調理部門民間委託の円滑な実施(市長戦略)</li> </ul>	
4. 施策の柱と目的			
施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策	所管課等
人権教育・道徳教育を基盤とした情(こころ)を育む教育の推進	小中一貫した指導により、児童・生徒の問題解決能力や多様な人間関係を形成する力を伸ばし、未来に夢や希望を持ち、社会の一員として必要な能力の育成に努めるよう、学校を指導、支援する。また、いじめ問題の克服に取り組む。	人権教育・道徳教育・キャリア教育 生徒指導の充実・読書活動の推進	指導課
「確かな学力」の育成と、主体的・対話的で深い学びの実現	小中一貫教育の実施や授業におけるICT活用の推進により、児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現し、これからの社会で必要となる学力や能力の育成を図る。	確かな学びが実感できる学校 ICTに対応した教育環境の整備	指導課 まなび未来課
学校経営の自主性・自律性と特色ある学校づくりの推進	各学園(中学校区)の「めざす子ども像」を学校と保護者や地域が共有し、「小中一貫教育は地域で子どもたちを育てる教育」という意識を高め、学校と地域が一体化した特色ある教育活動をすすめる。	地域とともにある学校づくりの推進	指導課
学校規模の適正化	現在及び将来の児童・生徒にとって望ましい教育環境の維持・向上を図るべく、児童・生徒数の減少や学校施設の老朽化を踏まえ、市立小中学校の適正規模及び適正配置の方向性を検討する。	小中学校の適正配置の検討 交野市学校規模適正化基本計画の推進	まなび未来課
安全で栄養バランスに配慮した魅力ある学校給食	児童・生徒に安全で栄養バランスに配慮した魅力ある学校給食を提供し、健全な発達と望ましい食習慣の形成を図る。学校と連携し食育を推進する。	学校給食の充実	学校給食センター
5. 部の課題と解決に向けた取り組み			
部の抱える課題・リスク		課題解決に向けた取り組み	
ICT環境の整備・充実と利活用		ICT整備計画に基づく環境整備および拡充 利活用検討委員会等による効果的な活用方法の研究と効果検証	
教育課題の多様化		学校支援や教育相談の充実	
学校規模適正化に伴う学校統合		将来を見据えた学校の適正規模及び適正配置の検討	

# 学校教育部

## 指導課

### 1. 課の目的

児童・生徒に様々な学習の機会を通して、基礎・基本を定着させ、主体的に学び考える力などの「確かな学力」の育成を図るとともに、ともに学びともに育つ視点に立った一人ひとりの個性を伸ばす教育・指導の充実を図る。

### 2. 課の所掌する施策

1 「確かな学び」が実感できる学校	2 豊かな人間性と夢を育む学校
3 地域に根ざした特色ある学校	

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・学習指導要領の着実な実施	主体的・対話的で深い学びの推進／プログラミング教育・外国語教育の推進／言語活用力向上の推進へ向けた取組
・児童・生徒の発達の早期化等への対応及び不登校児童生徒への対応	各関係機関との連携／ケース会議によるアセスメントの実施／スクールソーシャルワーカー等の活用による家庭への支援
・児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズへの対応	学校図書館を活用した子どもの居場所づくり／インクルーシブ教育の充実
・小中一貫教育の取組の充実	新たな科の推進／小小・小中交流の実施／教科担任制の実施／学園評議員会の開催／コミュニティ・スクールの一部導入

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
課内の情報の共有化	・毎朝の職員朝礼の継続及び課内会議を月2回以上実施 ・復命書や報告書の迅速な作成と供覧
庁内他部署との連携や協力体制	・担当者同士の情報共有の迅速化 ・他部署との連携強化
人材育成・ノウハウ継承	・定期的な課内ミーティングの実施 ・業務マニュアルの作成等による、業務の明確化と効率化

## まなび未来課

### 1. 課の目的

ICTの環境整備など将来を見据えた児童・生徒の教育環境の維持・向上を図り、統合等に伴う新たな学校づくりを進める。児童生徒数の減少や学校施設の老朽化状況を踏まえ、市立小中学校の規模適正化及び適正配置を進める。

### 2. 課の所掌する施策

1 学校規模の適正化	2 ICT環境の整備による教育環境の充実
------------	----------------------

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・少子化による児童生徒数の減少に伴う学校の規模適正化、適正配置	適正配置の方向性が定まっていない中学校区について、学校の適正配置についての検討
・ICT環境の整備	ICT整備計画に基づくICT機器の維持・管理

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
庁内他部署との必要な会議や調整の多さ	会議等の目的や論点の事前整理と周知
柔軟な働き方と業務分担のかかわりの難しさ	課内業務内容等の情報共有とサポート体制

# 学校教育部

## 学校給食センター

### 1. 課の目的

成長期にある児童・生徒の心身の健全な発達のために、栄養バランスに配慮した魅力ある学校給食を提供します。また、児童・生徒に対して、自らの健康を考え、食に関する知識と望ましい食習慣を身に付ける指導及び教育を行い、学校給食を生きた教材とした食の指導を行う。

### 2. 課の所掌する施策

1 安全・安心な学校給食の提供	2 食物アレルギー対応食・除去食の提供
3 食育の推進と啓発	4 学校給食調理業務等の民間委託



### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
年間を通じて児童・生徒に、安全・安心で魅力ある給食を提供する。	健全な発育に資する安全・安心な学校給食の提供を図るため、HACCPの概念を取り入れた運用を行い、共同調理場の施設及び設備、食品の取扱い、調理作業、衛生管理体制等について 実態把握に努め、安全・安心で魅力ある給食を提供する。
食物アレルギー対応食・除去食の提供	食物アレルギー応委員会の中かで、安全・安心を最優先にした協議を行い、対象児童・生徒のアレルギーの状況を十分に把握し、学校、保護者、医師、学校給食センター等の連携の下、除去食の提供を行う。
学校給食調理業務等の民間委託	日々の報告及び提出書類の確認を行い総括責任者と協議を行う。また、毎月1回、総括責任者及び各責任者とセンター会議を行い、安全・安心で美味しい給食提供ができるように努める。

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
円滑な調理業務を行う。	作業工程表、作業動線図、調理作業指示書を事前に情報共有を行う。

学校教育部 指導課

<b>施策 1</b>		<b>「確かな学び」が実感できる学校</b>	
SDGsとの関係	G4教育	 	
	G17パートナーシップ		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		20 子どもたちが、しっかりとした基礎学力を身につけている 25 自ら興味や問題意識を持ってすすんで学んでいる 28 外国の人や異なる文化と交流し、理解と友好を深めている	
目的		子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用 「かたのスタンダード」に基づいた指導方法の工夫改善 障がいのある子どもの自立への支援	
今年度の目標		児童・生徒一人ひとりに応じた多様な教育、指導方法の工夫・改善／小学校35人学級の実施／中学校フォロー支援員の配置／小中一貫教育の実施／ALT6名による英語教育の充実／ICT環境の整備による教育環境の充実／児童・生徒が主体的・能動的に学ぶ「主体的・対話的で深い学び」の推進	
関連する法令等	法令	学校教育法、義務教育諸学校における教科用図書の無償措置に関する法律	
	条例・規則	交野市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会条例	
	計画	市長戦略、交野市教育大綱、学校教育ビジョン、交野市小中一貫教育指針	
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク	学校支援員派遣、大学教授招聘、大阪府教育委員会、交野市障がい福祉課、交野市リーディングチーム、民間企業(プログラボ等)や大学(関西外国語大学等)との連携 等	

<b>事業 1</b>		<b>授業改善と教員の資質向上</b>		<b>活動指標</b>	<b>R4年度目標</b>	<b>R3年度見込</b>	<b>R2年度実績</b>
拡大・重点化	概要	教育ICT機器の効果的活用を進めながら、授業研究・授業改善等の一層の充実を図る		1 教職員研修	28	28	23
				2 学習支援員の派遣	5616時間	3000時間	5189時間
	国府補助	子どもの貧困緊急対策事業費補助金		予算・決算額(歳出)	5,616千円	3,000千円	5,189千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	2,808千円	1,500千円

<b>事業 2</b>		<b>小中一貫教育事業</b>		<b>活動指標</b>	<b>R4年度目標</b>	<b>R3年度見込</b>	<b>R2年度実績</b>
拡大・重点化	概要	・小学校から中学校への円滑な接続を図る ・9年間を見通した指導の一貫性や系統性を図る ・新たな科の推進をはじめ、英語教育、プログラミング教育の充実及び言語活用力の向上を図る		1 学園(中学校区)児童・生徒及び教職員の交流	20回	16回	10回
				2 児童生徒アンケート「授業がわかりやすく楽しい」の項目の割合	90%以上	86%	85%
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	8,530千円	8,840千円	11,272千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 3</b>		<b>グローバル・コミュニケーション能力向上支援事業(外国語教育の充実)</b>		<b>活動指標</b>	<b>R4年度目標</b>	<b>R3年度見込</b>	<b>R2年度実績</b>
維持・継続	概要	・小中学校外国語(英語)教育充実のための研究や4技能を統合した授業づくりを推進する ・ALTを活用したコミュニケーション活動の充実に取り組む ・英語プレゼンテーション大会及び英検IBAを実施する		1 英語指導助手の派遣	すべてのクラスにおける外国語教育に活用	すべてのクラスにおける外国語教育に活用	すべてのクラスにおける外国語教育に活用
				2 中学3年生における英検3級程度の生徒の割合	65%	64%	64%
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	25,250千円	25,156千円	22,148千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

学校教育部 指導課

施策 1 「確かな学び」が実感できる学校

事業 4		少人数学級の整備と充実			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	小学校において、35人以下学級にすることで、児童一人ひとりに対しきめ細かな指導を行う			1	児童アンケート「少人数の授業はよくわかる」の項目の割合	90%以上	86%	89%
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	—	—	—	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 5		学校教育活性化推進事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	学校が進める教育活動を支援する			1	人権課題や指導方法の改善について、取り組んでいると回答の教職員の割合	90%以上	90%	90%
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	6691千円	6940千円	5159千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	






事業 6		支援教育の推進			指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
拡大・重点化	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいの状況に応じた支援や指導を行い障がい者(児)理解を推進する</li> <li>個別の教育支援計画及び指導計画の作成・活用と通級による指導の充実</li> </ul>			1	支援教育支援員の派遣	9680時間	5680時間	5000時間
					2	個別の教育支援計画及び指導計画の作成と活用に係る指導助言回数	2回	2回	2回
	国府補助	新子育て支援交付金			予算・決算額(歳出)	9,680千円	5,680千円	5,000千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	2,075千円	0千円	5,000千円	

事業 7		交野市小・中学校学力充実支援事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>他府県の先進校への視察を通じ、先進事例を取り入れ、一層の授業の充実と学力の向上を図る</li> <li>小学校定期テストにより、学習の躰きを把握するとともに、中学校の学習につなげる</li> </ul>			1	先進校視察を伴う研修会の実施	1回	1回	—
					2	小学校定期テストの実施	全小学校で実施	全小学校で実施	全小学校で実施
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	1,380千円	1,080千円	614千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 8		教科用図書採択事務			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	教科用図書の採択と社会科副読本を印刷・配付する			1	教科書採択	教科書採択	教科書採択	選定委員会の開催と教科書採択
					2	副読本の印刷	770冊	770冊	1540冊
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	704千円	704千円	1,399千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	



# 学校教育部 指導課

施策 2		豊かな人間性と夢を育む学校				
SDGsとの関係	G1貧困					
	G4教育					
	G5ジェンダー					
	G10不平等					
	G17パートナーシップ					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	18	子どもたちの未来に明るい希望がある				
	29	一人ひとりの違いをお互いに尊重しあい、差別なく暮らしている				
	11	困難を抱えている人をみんなで支えあっている				
目的	人権尊重の教育の推進 子どもたち同士の豊かな人間関係や信頼関係の確立 道徳教育、キャリア教育の推進					
今年度の目標	人権教育・心の教育を基礎とした個性を伸ばす教育を充実/豊かな人間性を育む9年間を見据えた生徒指導の充実/家庭教育力の向上のための支援					
関連する法令等	法令	学校教育法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律				
	条例・規則					
	計画	市長戦略、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン				
	要綱等					
	業務マニュアル					
	ネットワーク	生徒指導支援者派遣、大学教授招聘、大阪府教育委員会、ゲストティーチャー 等				

事業 1		生徒指導(相談)体制の充実			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	・児童・生徒、保護者の悩みや不安を的確に受け止め、問題行動の早期発見や未然防止に努める ・スマートフォン、タブレット端末、SNS等のネットトラブル対策の強化			1	生徒指導支援員派遣	960時間	960時間	644時間
					2	いじめの解消率	100%	100%	100%
	国府補助	子どもの貧困緊急対策事業費補助金			予算・決算額(歳出)	6,805千円	6,965千円	6,806千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	3,402千円	480千円	420千円	

事業 2		キャリア教育の推進			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	中学校区における全体計画に基づき、児童・生徒が将来に対する目的意識を持つとともに、進路を選択する能力と態度を育成する			1	進路指導資料配付	中学校3年生全員に配付	中学校3年生全員に配付	中学校3年生全員に配付
					2	職場体験学習	実施4校	実施0校	実施0校
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	365千円	365千円	355千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 3		人権教育の推進			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	「であい」や「つながり」を大切に、多様性を認め、様々な人権を学ぶことで自己肯定感を育て、自己実現をめざし、人との豊かなつながりを築く人権教育を推進する			1	教職員研修	2回	2回	2回
					2	作文応募人数	58名	58名	56名
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	102千円	102千円	134千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

学校教育部 指導課

施策 2

豊かな人間性と夢を育む学校



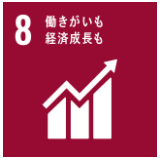
事業 4		アウトリーチ型家庭教育支援事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	家庭教育支援員を家庭へ派遣するとともに、不登校対策支援員を活用し、家庭や児童・生徒の抱える課題の早期発見及び関係諸機関と連携を行う		1 家庭訪問回数	400時間	330時間	323時間
				2 不登校生徒への学習サポート	1160時間	1350時間	1201時間
	国府補助	子どもの貧困緊急対策事業費補助金		予算・決算額(歳出)	2,000千円	2,370千円	1,925千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	1,000千円	1,185千円

事業 5		情(こころ)の教育実践支援事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	いじめや不登校、暴力行為等の諸課題の解決を図り、「交野市いじめ防止基本方針」に基づく組織等を支援する		1 教職員研修	3回	3回	3回
				2 学校訪問等による支援	450回	450回	105回
	国府補助	子どもの貧困緊急対策事業費補助金		予算・決算額(歳出)	2,503千円	2,463千円	293千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	1,252千円	1,232千円

事業 6		スクールソーシャルワーカー活用事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	虐待や不登校等に関する児童・生徒を取り巻く生活環境の諸課題の解決を図るために、各学園(中学校区)にスクールソーシャルワーカー1名を配置し関係機関との連携を深めることで家庭支援を行う		1 学校への派遣回数	155回	155回	155回
				2 関係機関との連携件数	150回	150回	71回
	国府補助	スクールソーシャルワーカー活用事業		予算・決算額(歳出)	3,100千円	3,100千円	3,100千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	1,550千円	1,550千円

事業 7		子ども未来サポート事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	子どもの心と体の居場所づくりとして、放課後の学校図書館を開館し、活動員が見守り等を行う		1 図書館への来館者数	延べ2,700人	延べ2,500人	延べ2,575人
				2 学校教育アンケートで「学校に行くのが楽しい」と回答する児童の割合	90%以上	88%	88%
	国府補助	新子育て支援交付金(優先配分枠)事業		予算・決算額(歳出)	4,760千円	4,420千円	3,574千円
	位置付け	選択事務	実施形態	直接実施	うち国府負担額	4,545千円	3,928千円

学校教育部 指導課

施策 3		地域に根ざした特色ある学校			
SDGsとの関係	G3保健				
	G4教育				
	G8成長・雇用				
	G17パートナーシップ				
	—				
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	21 様々な人の経験や技が、子どもたちの興味、関心を呼び起こしている 23 地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている 8 地域がふれあいに満ちていて笑顔が自然とわいてくる				
目的	学校評価の充実／地域に開かれた学校づくりの推進／学校を拠点とした教育コミュニティの育成／地域の教育資源の有効活用／学校運営体制の確立／安全で安心な学校				
今年度の目標	社会に開かれた教育課程のもと、地域の人的・物的資源を活用した教育活動の充実／学校が家庭や地域と連携し、めざす子ども像を共有した小中一貫教育の推進／コミュニティ・スクールの導入／カリキュラム・マネジメントによる、義務教育9年間を見通した学校づくりの推進／働き方改革の推進				
関連する法令等	法令	学校教育法			
	条例・規則				
	計画	交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン、交野市小中一貫教育指針			
	要綱等				
	業務マニュアル				
	ネットワーク	地域ボランティア、校区福祉委員会等校区内の団体、ゲストティーチャー 等			

事業 1		魅力ある教育活動			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	自主性・自律性を活かしながら特色ある学校作りを推進する。また、地域の専門家や技術者を授業や部活動の指導者として招聘、派遣する			1	小中学校指導者招聘、派遣	575回	598回	547回
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	1,974千円	2,040千円	1,646千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 2		開かれた学校づくりの推進			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	コミュニティ・スクールの導入を進めるとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を生かし、三者が一体となって地域の子どもの教育にあたる			1	第一中学校区コミュニティ・スクール導入及び第二・第三・第四中学校区での評議員会の実施	・第一中学校区での学校運営協議会の実施 ・第二・第三・第四中学校区での評議員会の実施	・第一中学校区コミュニティ・スクール設置に向けての準備委員会を設置 ・全学園(中学校区)での評議員会の実施	全学園(中学校区)での評議員会の実施
					2	学園(中学校区)プランの活用	学園プランの実践	学園プランの改訂	学園プランの実践
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	336千円	200千円	—	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

学校教育部 指導課


施策 3

地域に根ざした特色ある学校

事業 3		子どもの安全確保と危機管理体制の充実			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・家庭・学校が連携して取り組んでいく環境づくりの推進</li> <li>・減災の視点から、災害発生時には危険を回避するために主体的に行動する態度の育成</li> </ul>			1	学校防災計画の見直し	1回	1回	1回
					2	地震や火災などが起こった場合に、どうしたら良いか教えてもらっている。児童生徒の肯定的回答	100%	95%	96%
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	—	—	—	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	


事業 4		教職員の働き方改革			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
拡大・重点化	概要	教職員の業務負担の軽減を図り、児童生徒と関わる時間を確保することで、効果的な教育活動を推進する			1	一斉退庁日・ノークラブDAYの実施	一斉退庁日:週1日 ノークラブDAY:週2日	一斉退庁日:週1日 ノークラブDAY:週2日	一斉退庁日:週1日 ノークラブDAY:週2日
					2	学校閉庁日の実施	年5日	年5日	年5日
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	—	—	—	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

# 学校教育部 まなび未来課

施策 1		学校規模の適正化	
SDGsとの関係	G4教育		
	G11都市		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		18 子どもたちの未来に明るい希望がある	23 地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている
目的		現在及び将来の児童生徒にとって望ましい教育環境の維持・向上を図るべく、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化を踏まえ、市立小中学校の適正規模及び適正配置の方向性を検討する。	
今年度の目標		「学校規模適正化基本計画」及び「学校施設等管理計画」で学校適正配置の具体的な方向性が定まっていない中学校区について、今後の学校配置の方向性を定める。	
関連する法令等	法令	学校教育法	
	条例・規則	交野市立学校に関する条例、交野市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則	
	計画	市長戦略、交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市公共施設等総合管理計画、交野市公共施設等再配置計画、交野市学校規模適正化基本計画、交野市学校施設等管理計画	
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク	校長会、教頭会、交野市学校教育審議会、市立小中学校の適正配置等に関する懇談会	

事業 1		学校規模の適正化		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	策定した「学校規模適正化基本計画」及び「交野市府学校施設等管理計画」の中で、学校適正配置の方向性が定まっていない中学校区について、今後の方向性を検討する。		1 方向性の定まっていない中学校区の適正配置の方向性の策定	第三中学校区及び第四中学校区の学校適正配置の方向性を定める	第三中学校区及び第四中学校区の学校適正配置の方向性の検討	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	554千円	3,453千円	2,233千円
位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

学校教育部 まなび未来課

施策 2		ICT環境の整備による教育環境の充実	
SDGsとの関係	G4教育		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	20	子どもたちが、しっかりとした基礎学力を身につけている	
	25	自ら興味や問題意識を持ってすすんで学んでいる	
	28	外国の人や異なる文化と交流し、理解と友好を深めている	
目的	子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用 「かたのスタンダード」に基づいた指導方法の工夫改善		
今年度の目標	ICT環境整備の拡充		
関連する法令等	法令	学校教育法	
	条例・規則		
	計画	交野市教育大綱、交野市教育施策、交野市学校教育ビジョン	
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク	大阪府教育庁、校長会、教頭会、事務職員会、養護教諭部会	

事業 1		未来の教育ICT環境整備 (NE×T) 推進事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	学校におけるICT環境の維持・管理及び活用促進に向けたICT支援員 (GIGAスクールサポーター) の配置	1	ICT支援員 (GIGAスクールサポーター) の配置	2名	2名	3名
			2	学習者用コンピューター一人一台環境の実現	6594台	6594台	6594台
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	99,369千円	112,779千円	391,951千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	5,804千円

事業 2		校務支援システム導入事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
(新規)	概要	校務支援システムの維持・管理	1	校務支援システムの維持・管理	校務支援システムの安定運用	校務支援システム導入に伴う安定運用	校務支援システムの導入
			2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	49,940千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 3		教育ネットワークに関する事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	就学事務に係る情報共有のための学事システムの維持・管理	1	学事システムの維持・管理	突発的トラブルに対する保守対応	突発的トラブルに対する保守対応	突発的トラブルに対する保守対応
			2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	7,531千円	6,428千円	12,919千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

学校教育部 まなび未来課

施策 2

ICT環境の整備による教育環境の充実

事業 4		学校ICT環境整備事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
改善・効率化	概要	今後の市内小中学校における学校ICT環境整備			1	学校ICT環境整備	教室・職員室・PC教室及びネットワークの整備	PC教室及び職員室PC維持・管理	PC教室及び職員室PC維持・管理
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	57,046千円	30,949千円	24,365千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

施策 1		学校給食の充実				
SDGsとの関係	G2飢餓					
	G3保健					
	G4教育					
	G8成長・雇用					
	G12生産・消費					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	2	体のの中から健康でいたいので、食を大切にしている				
	23	地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている				
	54	農業がまちの生業といえるほどに、みんなで支えている				
	65	地球の温暖化に気を配り環境にやさしい配慮をしている				
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている				
目的	魅力ある学校給食を提供し、児童・生徒の心身の発達のために、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図る。また、児童・生徒に対して、自らの健康を考え、食に関する知識と望ましい食習慣を身に付ける指導及び教育を行い、給食を通じてバランスの良い食事を家庭に啓発し、行事食を活かして、日本の伝統的な食文化を伝える。					
今年度の目標	食物アレルギー対応食については、今年度からは、卵のみの除去食・エビのみの除去食、卵、エビを両方抜いた3通りの除去食の提供を行っている。「安全・安心」を最優先にし、対象児童・生徒のアレルギーの状況を十分に把握し、学校、保護者、医師、学校給食センター等の連携の下、除去食の提供に努める。また、今年度から民間委託になります。これまで取り組んできた食育の啓発については、引続き行っていく。具体的には、PTA試食会や地域の方・児童による給食センター見学及び試食会、学校訪問による交流給食や市内のイベント等での学校給食の紹介、夏休み親子料理教室等を実施し、家庭や地域において、学校給食や食育に対する理解の促進を図る。					
関連する法令等	法令	学校給食法				
	条例・規則	交野市立学校給食センター条例、交野市学校給食費の徴収に関する規則				
	計画	交野市教育大綱、交野市学校教育ビジョン、交野市教育施策、交野市健康の増進、食育推進計画				
	要綱等	交野市学校給食物資納入業者選定委員会設置要綱、交野市学校給食献立作成委員会設置要綱、交野市学校給食物資選定委員会設置要綱				
	業務マニュアル	学校給食衛生管理マニュアル、学校給食作業マニュアル、学校給食における食物アレルギー対応マニュアル				
	ネットワーク	交野市農業生産連合会				

事業 1		安全・安心な学校給食の提供			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	児童生徒に対して、自らの健康を考え、食に関する知識と望ましい食習慣を身に付ける指導及び教育を行うとともに、健全な発育に資する安全・安心で美味しい給食を提供する。			1 学校給食の提供	191回	191回	179回
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	537,112千円	513,607千円	455,977千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 2		食育の推進と啓発			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	学校・家庭・地域が連携する、食育の啓発活動			1 学校給食夏休み親子料理教室	3日54組 108名	—	—
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	195千円	—	—
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—



施策 1

学校給食の充実

事業 3		学校給食の収納率			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	適正な収納管理を行い、収納率を高める。			1 収納率	99.20%	99.15%	99.13%
					2			
	国府補助				予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 4		就学援助(学校給食)			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	就学援助のうち学校給食費について、就学援助費受給資格が認められた世帯の児童・生徒に対する学校給食を支給する。			1 対象人数	773	675	696
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	35,640千円	28,976千円	28,076千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—



令和4年度 実施計画書

# 生涯学習推進部

社会教育課

青少年育成課

図書館

# 生涯学習推進部

## 運営方針

### 1. 部内組織

部長	西岡 浩二	構成課等	社会教育課	青少年育成課
			図書館	

### 2. 暮らしの夢(総合計画基本構想より)

- 心も体もいきいきと、思いやり、心(情)の通う暮らし
- 子どもや若者が、それぞれの個性を育み、のびのびと遊び、学ぶ暮らし

### 3. 部の重点的な取り組み

中長期的にみた重点的取り組み	今年度の重点的取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習基本計画の推進</li> <li>生涯学習施設の適切な維持管理</li> <li>文化財の保存と活用</li> <li>放課後児童会の管理運営体制の検討</li> <li>子ども読書活動計画の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>”星の里いわふねの管理運営方法の今後の方向性”に基づく指定管理者制度に向けた取り組み</li> <li>総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会の設置及びその取り組み</li> <li>”放課後児童会の今後の在り方基本方針”に基づく持続可能な児童会制度の確立に向けた取り組み</li> </ul>

### 4. 施策の柱と目的

施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策	所管課等
文化活動の促進	市民が健やかで、心豊かな生活を過ごすことができるよう、生涯学習の機会と場を提供することで、文化活動の促進に努める。	文化活動の充実 文化施設の充実	社会教育課
教育コミュニティづくりの推進	学校・家庭・地域がもつそれぞれの役割に基づき、連携・協力体制を深め、一体となって子どもを育むしくみを推進する。	教育コミュニティの形成	
スポーツ活動の促進	市民誰もがいつでも、どこでもスポーツに親しみ、健康で明るいライフスタイルが実現できるよう、生涯スポーツの推進及び振興を図る。	スポーツ活動の充実 スポーツ施設の充実	
文化財保護	交野の文化遺産や伝統文化を次世代に継承していくために、適切な保存と活用を図り、市民の理解と愛護意識を高め、ボランティア等との連携・協働のもと文化財保護活動を推進する。	文化財保護の充実	
青少年の健全な育成	青少年の安全・安心の確保に努め、創造性や協調性・生きる力を育む環境づくりに努める。また、放課後児童会では運営内容と施設の充実に努め、児童の健全育成を図る。	青少年の健全な育成 放課後児童会の運営	青少年育成課
図書館活動の推進	市民の多様なニーズに応える情報センターとして、資料・情報の収集及び提供に努め、市民の教養・趣味を育むとともに、次世代を担う子どもたちの図書館利用と読書活動を支援する。	図書館活動の充実	図書館

### 5. 部の課題と解決に向けた取り組み

部の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
生涯学習施設の老朽化等への対応	修繕計画等に基づく、施設や設備の計画的な修繕・改修
放課後児童会の指導員の高齢化及び安定的な人材確保	持続可能な児童会制度の協働事業化

# 生涯学習推進部

## 社会教育課

### 1. 課の目的

市民が生涯学習活動を通して、健やかで心豊かな生活を送ることができるよう、多種多様な学習機会や場を提供する。

### 2. 課の所掌する施策

1 文化活動の充実	2 スポーツ活動の充実
3 教育コミュニティの形成	4 スポーツ・文化施設の充実
5 文化財保護の充実	

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
社会教育関係団体や講師等の高齢化	新たな人材を発掘し要請するとともに後進の育成に努める。
社会教育関連施設の老朽化等による修繕箇所が増加	施設の老朽箇所、破損箇所を早期に発見し、計画的な修繕に努める。
文化遺産の適切な維持保全	文化財保存活用地域計画を策定する。

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
職員が作成する公文書に誤り等が多く、決裁等事務処理に時間がかかる。	文書作成能力の向上として、研修受講の推奨と上司と部下との間で作業内容の事前共有を徹底する。
業務量の総量が多く、超過勤務が多い。特に特定の職員に負担が集中する傾向にある。	適正な役割分担を行うとともに、柔軟なサポート体制が組めるように努めるが、業務量の総量については、組織の再編も含め、検討する必要がある。
業務にロスが多く、不必要な作業を行っている。	業務内容の本質を見極め、綿密な計画を立てて、実行する。

## 青少年育成課

### 1. 課の目的

未来を担う青少年に安全かつ安心して活動できる場を提供し、興味・関心の幅を広げ、夢に向かって取り組める環境を整える。また、放課後の児童の居場所を確保する。

### 2. 課の所掌する施策

1 青少年の健全な育成	2 放課後児童会の運営
-------------	-------------

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
児童の放課後の安全かつ安心な居場所づくり	放課後児童会の環境整備及び放課後子ども教室(フリースペース)の充実
放課後児童会の指導員の高齢化及び安定的な人材確保	持続可能な児童会制度の確立に向けた取り組み

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
業務上紙媒体等でのやり取りが多く、通知等に膨大な時間を要する。	保護者等への通知を含め、ペーパーレス化を徹底する。
100人超の会計年度任用職員の給与計算等に膨大な時間を要する。	出勤簿を見直し、より効率的な方法へ変更する等、時間短縮に努める。
放課後児童会入会申請書類が多く、申請者にとってわかりにくいものとなっている。	必要な書類・項目の整理・見直しをすることで、書類の簡素化に努める。

# 生涯学習推進部

## 図書館

### 1. 課の目的

乳幼児から高齢者まで様々な年代の市民が、本とふれあうことによって、心豊かな時間を持ち、必要な情報を収集できる環境を整える。

### 2. 課の所掌する施策

- 1 図書館活動の充実



### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
利用者が減少傾向にある。	図書館内外の事業において、図書館をPRする。
市民の多様なニーズに対応する必要がある。	交野市立図書館運営方針に基づき、効率的・効果的な運営に努めるとともに、職員の能力・資質向上に努める。

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
職場(施設)が4拠点であること、土日開庁職場であり、夜間開室のための時差出勤が平常であることから、職員間のコミュニケーション不足や業務連絡の情報共有に時間がかかる場合がある。	マニュアルの遵守、またメール、電話、朝礼等において引継ぎ、連絡事項等の確認を徹底し、業務における調整、簡素化を図る。

## 生涯学習推進部 社会教育課

施策 1		文化活動の充実	
SDGsとの関係	G4教育		
	G17パートナーシップ		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	6 趣味や生きがいをもち日々楽しく心が充実している		
	26 いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる		
	27 いろんな世代の人同士が交流し、楽しく刺激あっている		
目的	市民のニーズに応えられるように各種文化教室や行事の開催など、生涯学習の機会と場を提供し、市民一人ひとりが生涯を通じて健やかで心豊かな生活を過ごすことができるよう文化活動の促進に努める。		
今年度の目標	市民、とりわけ青少年の文化活動の活性化を図るために、個人の学習ニーズを踏まえ、既存事業を見直し、学習とその成果発表の場を充実するとともに、情報提供の在り方を工夫することで、文化芸術に触れ、親しむ機会の充実を図る。		
関連する法令等	法令	社会教育法	
	条例・規則	交野市補助金交付規則	
	計画	市長戦略、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市生涯学習基本計画	
	要綱等	社会教育事業補助金交付要綱	
	業務マニュアル	各種事業マニュアル	
	ネットワーク	交野市文化連盟、交野市PTA協議会、日本語教室「学びの場」・「日本語プラザ」、摂南大学	

事業 1		多様な文化祭(生涯学習フェスティバル)の開催		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	文化の祭典をベースとし、生涯学習全般をテーマとした老若男女問わず、誰もが参加しやすい文化祭(生涯学習フェスティバル)の開催をめざす		1 文化祭参加団体	90団体	39団体	46団体
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	2,819千円	2,972千円	1,250千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 2		社会教育関係団体との連携		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	文化連盟、PTA協議会などと連携し、社会教育関係事業の充実を図る		1 文化連盟団体数	59団体	59団体	59団体
				2 PTA協議会全世帯数	5,000世帯	4,986世帯	4,953世帯
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	603千円	549千円	551千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 3		文化教室の運営		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	文化教室及び市民教養講座を実施する		1 文化教室延べ参加者数	600人	640人	750人
				2 市民教養講座延べ参加者数	350人	342人	365人
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	2,730千円	2,775千円	2,196千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

施策 1



文化活動の充実

事業 4		日本語教室「学びの場」の開催		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	日本語学習を必要とする人々に対する学習機会を提供する		1	学びの場延べ参加者数	180人	175人	148人
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)		472千円	472千円	459千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額		—	—

事業 5		相談体制の充実		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	生涯学習に関する相談窓口を通じて、地域における生涯学習事業への支援や活動の情報などを提供する。また、生涯学習ガイドブックの配布やHP版の更新を行う		1	相談対応件数	150件	90件	100件
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)		1,312千円	1,308千円	1,225千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額		—	—



生涯学習推進部 社会教育課

施策 2		スポーツ活動の充実			
SDGsとの関係	G3保健	 			
	G17パートナーシップ				
	—				
	—				
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	3 スポーツを通じて、仲間意識を育み感動を分かち合っている				
	4 運動を心がけ、健康が維持できるよう体力を養っている				
	6 趣味や生きがいをもち日々楽しく心が充実している				
目的	市民が生涯にわたって、体力や年齢に応じてスポーツに親しみ、健康で明るいライフスタイルが実現できるよう、生涯スポーツの推進、競技スポーツの振興を図るとともに、スポーツ指導者の養成に努める。				
今年度の目標	生涯を通じたスポーツの振興に向けて、市民一人ひとりが年代や地域に関わりなく参加できる機会や場づくりを進める。そのために既存施設における新たな取り組みや各年代のニーズに応じた取り組みとともに地域における生涯スポーツの振興を図る。				
関連する法令等	法令	スポーツ基本法、社会教育法			
	条例・規則	交野市立学校施設使用条例、交野市補助金交付規則、団体に対する補助金の適正化に関する規則、交野市スポーツ推進委員に関する規則			
	計画	市長戦略、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市生涯学習基本計画			
	要綱等	社会教育事業補助金交付要綱、地域スポーツ振興事業補助金交付要綱			
	業務マニュアル	学校開放ガイドライン他事業マニュアル			
	ネットワーク	交野市体育協会、交野市スポーツ推進委員、交野市スポーツ少年団			

事業 1		高齢者のライフステージとスポーツ			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	高齢者の健康づくり運動の導入となるノルディック・ウォーキングを実施する。文化財係の協力のもと歴史を楽しめる要素を取り入れ実施する			1 実施回数	6回	2回	中止
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	432千円	432千円	0千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 2		関係団体との連携			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	体育協会やスポーツ関係団体と連携し、各種大会を支援する			1 体育協会加盟団体数	25団体	25団体	25団体
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	387千円	388千円	277千円
	位置付け	選択	実施形態	補助	うち国府負担額	—	—	—

生涯学習推進部 社会教育課

施策 2

スポーツ活動の充実

事業 3		学校体育施設の開放事業			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	市内小・中学校の体育館及びグラウンドを開放する			1	体育館・グラウンド利用者数	180,000人	103,800	107,156人
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	3,053千円	1,691千円	1,466千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 4		スポーツ指導者の養成			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	スポーツ推進委員の研修や講座の実施、他市町村と情報交換を行いながらスポーツ指導者の育成に努める。また、府などの研修会にも積極的に参加を促す			1	講座・研修会等の実施回数	15回	5回	8回
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	648千円	648千円	132千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

事業 5		市民スポーツデーの開催			指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	秋季に市内各所で各種スポーツに親しむ機会を提供する			1	参加者数	2,000人	中止	中止
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	852千円	853千円	339千円	
	位置付け	選択	実施形態	補助	うち国府負担額	—	—	—	

事業 6		スポーツ活動の支援			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	北河内や大阪府の総合体育大会の運営、市長杯などの各種スポーツ大会及び交野マラソンの活動を支援する			1	参加種目数(北河内・府総体)	12種目	中止	中止
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	3,645千円	3,277千円	408千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	




事業 7		スポーツ教室の運営			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	子どものニーズに応じた6教室のスポーツ教室を実施する			1	スポーツ教室延べ参加者数	3,500人	2,600人	3,458人
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	6,370千円	6,474千円	5,124千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

施策 2

スポーツ活動の充実

事業 8		地域スポーツの活性化			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	地域におけるスポーツ活動の活性化や総合型地域スポーツクラブの設立を支援する			1	総合型地域スポーツクラブワークショップの回数	—	2回	7回
					2	総合型地域スポーツクラブ設立に向けた会議の回数	6回	—	—
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	943千円	633千円	83千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	



## 生涯学習推進部 社会教育課

<b>施策 3</b>		<b>教育コミュニティの形成</b>			
SDGsとの関係	G1貧困				
	G4教育				
	G17パートナーシップ				
	—				
	—				
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	8	地域がふれあいに満ちていて笑顔が自然とわいてくる			
	10	ボランティアや地域活動などに参加して、やりがいがある			
	23	地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている			
目的	学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、連携・協力を深め、一体となって子ども達を育む仕組みづくりを進める。				
今年度の目標	各々の活動を連携・強化するコーディネーター機能の向上を促進し、市内全域の子どもの健やかな成長を図る。また、保護者を対象とした親学び講座、小・中学生を対象とした親学習の機会を提供する。				
関連する法令等	法令	社会教育法			
	条例・規則				
	計画	市長戦略、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市教育大綱・交野市教育ビジョン・交野市生涯学習基本計画			
	要綱等	大阪府教育コミュニティづくり推進事業補助金交付要綱 交野市教育コミュニティづくり推進事業運営委員会設置要綱			
	業務マニュアル				
	ネットワーク	交野市PTA協議会、交野市青少年指導員会、交野市立小中学校、ポラリス(交野市子ども家庭サポーターの会)等			

<b>事業 1</b>		<b>家庭教育の充実</b>			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	保護者を対象とした家庭教育学級などの親学び講座及び小・中学生を対象とした親学習講座を実施する			1	200人	65人	95人
					2			
	国府補助	大阪府教育コミュニティづくり推進事業補助金			予算・決算額(歳出)	142千円	199千円	74千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	29千円	29千円	23千円

<b>事業 2</b>		<b>地域学校協働活動</b>			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支える			1	20,000人	18,000人	18,435人
					2			
	国府補助	大阪府教育コミュニティづくり推進事業補助金			予算・決算額(歳出)	1,578千円	1,578千円	1,410千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	803千円	803千円	741千円

## 生涯学習推進部 社会教育課

施策 4		スポーツ・文化施設の充実	
SDGsとの関係	G3保健		
	G17パートナーシップ		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	6	趣味や生きがいをもち日々楽しく心が充実している	
	26	いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる	
	81	公共の施設がいろいろな市民の活動に利用されている	
目的	指定管理者等により各施設の安全で効率的な維持管理を行うとともに、利用者ニーズの把握とそのニーズにあった自主事業の取り組みに努め、施設の利用促進をめざす。		
今年度の目標	指定管理者と協働し、より魅力ある生涯学習の場を提供していく。また、青年の家、私部・倉治公園については市の直営施設として適切に管理していく。		
関連する法令等	法令	地方自治法	
	条例・規則	交野市立青年の家条例、交野市立いわふね自然の森スポーツ・文化センター条例、交野市星田西体育施設設置条例、交野市立総合体育施設条例、交野市都市公園条例	
	計画	市長戦略、公共施設等総合管理計画、交野市生涯学習基本計画	
	要綱等	交野市生涯学習施設等利用料金の減免に関する要綱、交野市都市公園に係る施設等利用料金の減免に関する要綱	
	業務マニュアル	青年の家受付業務マニュアル	
	ネットワーク	指定管理者	

事業 1		青年の家の管理運営		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	青年の家の管理運営を市直営にて行う		1	利用者数	110,000人	72,954人	82,065人
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	51,084千円	40,708千円	36,609千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 2		私部公園・倉治公園の管理運営		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	私部公園・倉治公園の管理運営を市直営にて行う		1	利用者数	110,000人	70,952人	92,226人
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	22,159千円	16,506千円	14,761千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 3		総合体育施設の管理運営		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	指定管理者による総合体育施設の管理運営		1	利用者数	300,000人	249,108人	228,746人
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	91,520千円	103,569千円	129,966千円	
	位置付け	選択	実施形態	指定管理	うち国府負担額	—	—	—

生涯学習推進部 社会教育課


施策 4

スポーツ・文化施設の充実

事業 4		星の里いわふねの管理運営		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	指定管理者による星の里いわふねの管理運営		1	利用者数	80,000人	32,113人	39,701人
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	157,003千円	43,230千円	41,885千円	
	位置付け	選択	実施形態	指定管理	うち国府負担額	—	—	—

事業 5		星田西体育施設の管理運営		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	指定管理者による星田西体育施設の管理運営		1	利用者数	20,000人	11,275人	18,876人
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	7,810千円	67,899千円	11,877千円	
	位置付け	選択	実施形態	指定管理	うち国府負担額	—	—	—

## 生涯学習推進部 社会教育課

施策 5		文化財保護の充実		
SDGsとの関係	G11都市			
	—			
	—			
	—			
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	26	いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる		
	35	まちの魅力が一層かがやくように、効果的に情報発信している		
	37	歴史や文化財に触れてまちの魅力を再確認している		
目的	我々の祖先が築き、今まで連続と守ってきた文化遺産や伝統文化を次世代に継承していくために、適切な保存と活用を図り、市民の理解と愛護意識を高めるとともに、ボランティアなどとの協働のもと、文化財保護活動を推進する。			
今年度の目標	交野市文化財保存活用地域計画の策定準備を進める。 市指定文化財「私部城跡」については、様々な報活動を通じて城の周知を行う。			
関連する法令等	法令	文化財保護法		
	条例・規則	交野市文化財保護条例、交野市文化財保護条例施行規則、交野市文化財保存活用地域計画協議会条例		
	計画	交野市生涯学習基本計画		
	要綱等	交野市指定文化財保存事業費補助金交付要綱、交野市文化財保存事業費補助金交付要綱		
	業務マニュアル	埋蔵文化財窓口対応マニュアル		
	ネットワーク	市文化財審査委員会、市文化財保護委員、市文化財保存活用地域計画協議会、府文化財愛護推進委員会		

事業 1		埋蔵文化財発掘調査の実施			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
拡大・重点化	概要	埋蔵文化財を保護・活用するため発掘調査及び報告書作成を行う			1 調査件数	10件	12件	14件
					2 報告書冊数	1冊	1冊	2冊
	国府補助	文化財関係国庫補助金			予算・決算額(歳出)	7,620千円	5,069千円	5,229千円
	位置付け	法定	実施形態	直接・委託	うち国府負担額	1,000千円	1,000千円	1,000千円

事業 2		文化遺産の適切な維持保全			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	指定文化財の適切な維持管理を行うとともに、文化財保存活用地域計画策定作業を進める			1 補助金交付件数	2件	2件	2件
					2 一般公開等	4回	3回	2回
	国府補助	文化財関係国庫補助金			予算・決算額(歳出)	4,395千円	9,908千円	2,721千円
	位置付け	選択	実施形態	直接・委託	うち国府負担額	3,982千円	6,764千円	1,314千円

事業 3		文化財の普及啓発			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	歴史民俗資料展示室公開を通じて市民への文化財の普及啓発を行う			1 見学者数	3,000人	2,220人	2,650人
					2 特別展・企画展・スポット展示	5回	5回	5回
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	3,360千円	11,951千円	3,959千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—




施策 5

文化財保護の充実

事業 4		文化財保存活動			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	文化財に対する調査研究を行い、その成果を講座などにより市民に報告する。また、体験講座・出前講座を開催する			1	市民文化財講座等	5回	1回	2回
					2	体験講座・出前講座等の開催	5回	3回	8回
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	9,891千円	9,391千円	11,185千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	



## 生涯学習推進部 青少年育成課

施策 1		青少年の健全な育成				
SDGsとの関係	G1貧困					
	G4教育					
	G11都市					
	G16平和					
	G17パートナーシップ					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		23	地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている			
		24	まちなかに元気な子供たちの笑顔があふれている			
目的		青少年の安全・安心の確保に努め、創造性や協調性・生きる力を育む環境づくりに努める。				
今年度の目標		放課後子ども教室(フリースペース)の充実				
関連する法令等	法令	社会教育法、児童福祉法、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準				
	条例・規則	交野市立児童センター設置条例、交野市立児童センター設置条例施行規則				
	計画	交野市生涯学習基本計画				
	要綱等	交野市青少年指導員設置要綱、交野市青少年指導員会規約				
	業務マニュアル	成人式マニュアルほか各業務マニュアル				
	ネットワーク	青少年指導員、子ども会育成連絡協議会、子どもの安全見守り隊、こども110番、摂南大学				

事業 1		成人式		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	新成人の門出を祝うとともに、社会的な自立と自覚を促す		1	新成人参加率	70%	76.3%	72.4%
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	1,076千円	1,081千円	1,329千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 2		青少年活動の充実		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	団体活動を通じて、青少年の豊かな情操を育成するための事業を実施		1	参加者数	360人	390人	210人
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	6,567千円	6,492千円	4,470千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—



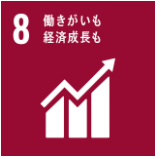


事業 3		放課後子ども教室		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	放課後の児童の安全で安心な居場所の確保(フリースペース)		1	実施日数	430日	360日	406日
				2				
	国府補助	大阪府教育コミュニティづくり推進事業費補助金		予算・決算額(歳出)	1,968千円	2,126千円	1,749千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	933千円	774千円	938千円

事業 4		子どもの安全見守り事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	子どもを犯罪やいたずらから守る活動(こども110番、子どもの安全見守り隊、青色防犯パトロール)		1 実施回数	800日	780日	739日
				2 協力者数	3,465人	3,320人	3,278人
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	2,573千円	2,638千円	2,336千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 5		相談・指導体制の充実		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	青少年に関する情報交換及び体制の充実(青少年指導員、子ども会育成連絡協議会)		1 活動回数	90回	35回	23回
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	1,593千円	1,738千円	869千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—



事業 6		第1児童センター管理運営		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	健全な遊びを通じて、児童の体力増進と豊かな情操を育成する		1 利用者数	9,000人	7,000人	5,749人
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	7,199千円	6,707千円	6,326千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

**生涯学習推進部 青少年育成課**

<b>施策 2</b>		<b>放課後児童会の運営</b>				
SDGsとの関係	G1貧困					
	G3保健					
	G8成長・雇用					
	G11都市					
	G17パートナーシップ					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	5 働くことと、家族や人生などのバランスを大切にしている					
	12 安心して子どもを産み育てることができる					
	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童(1～6年生)に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。					
今年度の目標	「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき、安全確保及びより良い環境の整備に努める。					
関連する法令等	法令	児童福祉法、放課後児童会健全育成事業の設備及び運営に関する基準				
	条例・規則	交野市放課後児童会条例、交野市放課後児童会健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例				
	計画	市長戦略、交野市まち・ひと・しごと創生総合戦略、交野市子ども・子育て支援事業計画、交野市生涯学習基本計画				
	要綱等	放課後児童クラブ運営指針、放課後児童健全育成事業実施要綱				
	業務マニュアル	放課後児童会危機管理マニュアル				
	ネットワーク	放課後児童会運営委員会				

<b>事業 1</b>		<b>放課後児童会</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
改善・効率化	概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後等、余裕教室等を利用して、児童の健全な育成を図る。		1 入会者数	961人	913人	900人
				2 待機児童数	0人	0人	0人
	国府補助	子ども・子育て支援交付金等		予算・決算額(歳出)	184,248千円	179,224千円	187,176千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	101,098千円	123,888千円

生涯学習推進部 図書館

施策 1		図書館活動の充実				
SDGsとの関係	G4教育					
	G7エネルギー					
	G9産業・イノベーション					
	G10不平等					
	G17パートナーシップ					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	6 趣味や生きがいをもち日々楽しく心が充実している	9 五感を大切にして、情緒豊かな時間を味わっている	26 いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる			
目的	市民の教養・趣味を育むとともに、知的好奇心に応える。子どもの読書環境を整え、読書活動を推進する。					
今年度の目標	交野市立図書館運営方針に基づき、効率的な図書館運営に努める。第4次交野市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書環境の整備に努める。					
関連する法令等	法令	図書館法				
	条例・規則	交野市立図書館条例				
	計画	市長戦略、交野市生涯学習基本計画、第4次交野市子ども読書活動推進計画				
	要綱等	交野市立図書館運営方針、交野市立図書館資料収集方針、図書資料の貸出取扱要綱等				
	業務マニュアル	カウンター業務マニュアル、自動車文庫業務マニュアル、サービス業務マニュアル				
	ネットワーク	交野市図書館協議会、地域家庭文庫、ボランティアグループ、学校、こども園				

事業 1		資料の収集・提供			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	利用者の多様なニーズに応えるための資料の収集及び提供			1 受入冊数	10,000冊	9,000冊	11,735冊
					2 貸出冊数	450,000冊	430,000冊	414,649冊
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	16,533千円	16,533千円	16,354千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 2		図書館情報ネットワークシステムの充実			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	図書館ネットワークシステムを活用した図書館サービスの充実			1 Web予約冊数	50,000冊	55,000冊	47,460冊
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	8,293千円	7,709千円	4,987千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 3		図書館利用窓口の充実			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	図書館(室)・移動図書館車の効率的、効果的な運営			1 利用者数	130,000人	125,000人	119,334人
					2 貸出冊数	450,000冊	430,000冊	414,649冊
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	17,313千円	16,943千円	15,601千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

事業 4		子どもの読書活動推進		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	子どもと読書を結びつける機会の提供 学校との連携及び支援 地域、こども園等関連機関への取り組み支援		1 おはなし会	62回	47回	39回
				2 ブックスタート	12回 450冊	11回 400冊	コロナの影響で 個別受診 241冊
	国府補助	新子育て支援交付金		予算・決算額(歳出)	553千円	553千円	505千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	455千円	455千円

事業 5		ボランティアとの協働		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	ボランティア活動の支援及び連携・協働		1 協働でのイベント実施	67回	52回	41回
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	選択	実施形態	直接・委託	うち国府負担額	—	—

事業 6		まちの図書館化事業		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	市内施設等への図書館のリサイクル本の設置		1 23か所の本の補充や入替え	23か所	23か所	23か所
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 7		図書館・図書室の運営		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	市内各図書施設の運営		1 利用者数	130,000人	125,000人	119,334人
				2 開館日数	297日	289日	253日
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	44,298千円	49,444千円	39,806千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—



令和4年度 実施計画書

# 消防本部

総務課

予防課

警防課

警備課

# 消防本部

## 運営方針

### 1. 部内組織

部長	山添 学	構成課等	総務課	予防課
			警防課	警備課

### 2. 暮らしの夢(総合計画基本構想より)

9 地球環境に思いをはせ、我がまちは我が手で守る暮らし

### 3. 部の重点的な取り組み

中長期的にみた重点的取り組み	今年度の重点的取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害への災害対応の検討(相互応援体制の強化・隣接消防との総合訓練)</li> <li>・消防力充実強化のため、適正な定員管理、スキルアップ及び消防車両、資機材等の整備</li> <li>・地域防災力向上のため、防火・防災意識高揚の促進及び啓発(消防団との連携・高齢者宅防火診断・住宅用火災警報器の啓発)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防広域化を含めた相互応援体制の検討及び交野市消防本部の将来像(人員・庁舎・訓練施設等)の検討</li> <li>・コロナ禍での業務継続計画や業務形式の検討</li> </ul>

### 4. 施策の柱と目的

施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策	所管課等
消防体制の充実強化	多種多様化する災害対応	消防施設・装備の整備	総務課
		消防職員の人材育成	
		消防団の充実強化	
火災予防の啓発	火災のない安全なまちを目指して、消防法及び保安3法の適正な指導を行うと共に防火啓発活動を推進し、市民の防火・防災意識の高揚を図る。	火災予防の啓発	予防課
		消防用設備規制	
		危険物規制	
		保安3法規制	
警防体制の充実強化	大規模災害等あらゆる災害への確かな対応を行うため隣接消防間での応援体制の充実強化を図る。	警防体制の充実	警防課
		消防車両・資機材の充実強化	
		応援・受援体制の充実	
		防火対策の推進	
消火・救急・救助・通信体制の充実強化	災害から市民の生命、身体、財産を守るため、車両等の資機材整備を充実させる。また、救命率向上のため、最新の救命資機材を整備するとともに、市民に対して応急手当の普及啓発を行う。	消火体制の充実強化	警備課
		救急体制の充実強化	
		救助体制の充実強化	
		通信体制の充実強化	
		消防水利の維持管理	
		警防査察の充実強化	

### 5. 部の課題と解決に向けた取り組み

部の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・広域で発生する災害対応	・消防広域化を含めた相互応援体制の確立及び隣接地域での大規模合同訓練の開催
・若年層職員への知識・技術の伝承	・各種資格取得のため、積極的に職員を派遣するとともに、職員各自がスキルアップに努めるよう職場環境の整備を図る



# 消防本部

## 総務課

### 1. 課の目的

消防職員が災害現場等において、安全かつ迅速な対応ができるように施設・装備の充実を図り、各種教育訓練に積極的に参加し消防技術の習得に努める。消防団の地域に密着した消防活動が行えるよう組織の充実強化に努める。

### 2. 課の所掌する施策

1 消防施設・装備の整備	2 消防職員の人材育成
3 消防団の充実強化	

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
消防業務に対する知識、経験不足への対応	各種教育訓練への派遣
複雑多様化する災害事案への対応	各種教育訓練への派遣
公務災害等の事故発生のリスク	消防職員安全衛生委員会を開催
消防団員の高齢化	消防団への入団促進等
消防庁舎の老朽化	消防庁舎維持管理を適正に実施する

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
メール等の件数が多く、供覧の数も多い。	内容を精査し、必要な資料のみを供覧
業務上、紙媒体でのやり取りが多いことや、供覧資料が多いことにより、多量の印刷物が発生する。	内容に応じた印刷、電子供覧の導入等、ペーパーレス化を図る

## 予防課

### 1. 課の目的

火災のない安全なまちを目指して、消防法及び保安3法の適正な指導を行うと共に、防火啓発活動を推進し、市民の防火・防災意識の高揚を図る。

### 2. 課の所掌する施策

1 火災予防の啓発	2 消防用設備規制
3 危険物規制	4 保安3法規制

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
多方面に渡る知識の習得	研修会や会議へ積極的に参加しスキルアップに努める
大規模防火対象物に対する技術基準に適合した消防設備指導	消防法及び建築基準法並びに関係通知等の知識習得、他部署との連携
申請・届出等のオンライン化	導入支援措置等の活用検討
安心安全なまちづくり	火災予防啓発活動及び事例研究
消防法令違反に対する是正指導	違反処理研修の参加及び事例研究

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
書類審査業務	内規及び指導方法等の運用
受付業務	オンライン申請の運用について検討
消防検査	簡易な検査(写真検査)等の適応拡大と現場検査方法の検討
保管文書管理	定期的な不要データの削除と管理方法の改善

# 消防本部

## 警防課

### 1. 課の目的

災害発生時、迅速な応援・受援活動が行えるよう消防指令センターと連携し、災害事案を早期に終息出来るように努める。また、消防相互応援協定及び緊急消防援助隊の充実強化に努め、消防団や自衛消防隊、その他関係機関と連携し、地域の安心安全を確固たるものにするため、消防防災体制の更なる強化に努める。

### 2. 課の所掌する施策

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1 警防体制の充実    | 2 消防車両・資機材の充実強化 |
| 3 応援・受援体制の充実 | 4 防火対策の推進       |

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・多種多様化する災害	・警防計画等の警防体制の確立
・地震や温暖化に伴う自然災害	・応援・受援体制の充実
・大規模災害や集団災害	・近隣市、府下消防本部と合同訓練実施。応援協定の充実強化
・高齢化社会における防火対策	・啓発活動

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
ネットワーク上の不要データが多い	・全庁的な運用ルール及び課内における運用ルールの検討 ・定期的な不要データの削除
ライフスタイルが多様化するなかで、柔軟な働き方ができない	・テレワーク・ウェブ会議の導入を検討

## 警備課

### 1. 課の目的

市民の安心・安全な生活を支えるとともに、災害等による被害の軽減を目指し、消防体制の充実強化と市民の防火意識の向上を図る。

### 2. 課の所掌する施策

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 消火体制の充実強化 | 2 救急体制の充実強化 |
| 3 救助体制の充実強化 | 4 通信体制の充実強化 |
| 5 消防水利の維持管理 | 6 警防査察の充実強化 |


### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・多種多様・大規模化する災害事案	・応援・受援体制の確立
・若年層職員の経験、知識不足	・各種研修・講習及び訓練等へ派遣
・緊急車両や施設の老朽化	・適正な時期に車両更新を実施
・消防水利の老朽化	・水利点検を実施し、結果を踏まえ随時修理を実施
・高齢化社会に伴う救急需要の増加	・円滑な救急搬送体制の構築

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
・各種届出の受付業務	・オンライン化の検討
・業務工程にロスが多い	・業務の趣旨を再確認し方法を検討


**消防本部 総務課**

<b>施策 1</b>		<b>消防施設・装備の整備</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	消防職員が円滑に業務遂行できるように庁舎の維持管理を適正に行い、消防装備品についても管理及び整備を適正に実施する。		
今年度の目標	消防庁舎維持管理を適正に実施する。 職員の装備や被服を適正に整備する。		
関連する法令等	法令	労働安全衛生法	
	条例・規則	交野市消防職員安全衛生管理規程、交野市消防吏員被服等貸与規程	
	計画	交野市総合管理計画、交野市公共施設等総合管理計画	
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク		

<b>事業 1</b>		<b>消防庁舎の維持管理</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
改善・効率化	概要	消防庁舎の維持管理。		1	—	—	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	3,363千円	5,131千円	3,646千円
	位置付け	選択	実施形態	直接・委託	うち国府負担額	—	—


<b>事業 2</b>		<b>消防装備の整備</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	職員貸与品の更新を図る。		1	対象者数(被服類)	56人	42人	77人
				2	対象者数(防火服)	20人	—	—
				3	対象者数(雨衣)	40人	—	—
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	6,442千円	1,199千円	1,076千円	
位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	

**消防本部 総務課**

施策 2		消防職員の人材育成	
SDGsとの関係	G11都市	 11 住み続けられるまちづくりを	
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	消防職員が火災現場等において、安全かつ迅速な災害対応ができるよう各種教育訓練に積極的に参加し、消防技術の習得に努める。		
今年度の目標	公務災害等事故の無い職場を目指す。		
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法	
	条例・規則		
	計画		
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク	大阪府、大阪府下消防長会、東ブロック消防長会	

事業 1		消防力の充実・強化(庶務・管理)【各種教育訓練等の派遣】		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	救急救命士養成課程を含む各種教育訓練等の派遣		1 職員派遣数	30人	26人	29人
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	2,215千円	2,000千円	3,280千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

**消防本部 総務課**


<b>施策 3</b>		<b>消防団の充実・強化</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	消防団の地域に密着した消防活動が行えるよう組織の充実・強化に努めながら、火災予防広報活動を推進する		
今年度の目標	地域密着型消防団活動を図る。		
関連する法令等	法令	消防法	
	条例・規則	交野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例	
	計画		
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク	大阪府、大阪府消防協会、大阪府消防協会北河内地区支部	

<b>事業 1</b>		<b>消防団教育訓練の充実・強化</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
拡大・重点化	概要	消防団員の技術向上を図るため、様々な教育訓練へ参加。また、地域住民の「安心・安全」のため、防災・避難訓練へ参加する。		1 訓練・大会等参加回数	60回	72回	60回
				2 訓練・大会等参加人数	1500人	700回	700回
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	3,616千円	1,705千円	1,680千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 2</b>		<b>火災予防啓発</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	春季・秋季火災予防運動、山火事予防運動期間、また、歳末時期に市内巡回広報及び店頭広報を実施し火災予防啓発を行う。		1 予防及び警戒出動回数	28回	26回	29回
				2 予防及び警戒出動人数	500人	460人	509人
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	1,246千円	1,105千円	1,217千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 3</b>		<b>水防の充実・強化</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	風水害発生時における地域住民の「安心・安全」のため、各分団内で水防訓練を実施する。		1 訓練回数	7回	7回	4回
				2 訓練参加人数	100人	100人	59人
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	240千円	240千円	142千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

消防本部 予防課

施策 1		火災予防の啓発	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	火災予防思想の普及を図り、もって火災の発生を防止し、財産の損失を防ぐこと		
今年度の目標	春季と秋季に火災予防運動及び山火事予防運動の実施 予防運動及び消防訓練並びに立入査察において、市民や事業者に防火意識の高揚を図る 住宅用火災警報器の設置、適切な維持管理及び経年劣化による機器交換の推進 消防法及び保安3法に基づく適正な指導を行い安心安全なまちづくりの推進		
関連する法令等	法令	消防法	
	条例・規則	交野市火災予防条例・交野市火災予防条例施行規則	
	計画	交野市総合計画、実施計画	
	要綱等	交野市火災予防運動実施要綱・交野市消防査察要綱・火災予防違反処理要綱・保安三法査察要綱	
	業務マニュアル	防火対象物立入検査マニュアル・危険物施設立入検査マニュアル・保安三法関係取締法マニュアル	
	ネットワーク	大阪府・大阪府下消防本部	

事業 1		火災予防運動		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	春季・秋季火災予防運動と山火事予防運動期間中に市内巡回広報の実施、駅頭広報と店頭広報により啓発物品の配布並びに市内各所で懸垂幕等を設置し火災予防の普及啓発を行う		1 予防運動	4回	4回	4回
				2 啓発物品配布	1,500個	2,000個	1,500個
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	930千円	979千円	1,059千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 2		消防訓練指導		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	初期消火、避難誘導、通報訓練を通じて火災や地震による被害の軽減を図る		1 指導件数	45件	30件	50件
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 3		住警器設置率調査		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	住宅用火災警報器設置率を調査すると共に機器点検や交換時期等の周知を行い、火災予防と火災の早期発見につなげる		1 調査件数	152件	152件	254件
				2 前年度未設置世帯追跡調査	70件	66件	—
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—


**消防本部 予防課**

**施策 1**

**火災予防の啓発**

事業 4		防火管理講習の開催			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
					維持・継続	概要	枚方寝屋川消防組合と合同で甲種新規防火管理講習を年間5回開催し新規防火管理者を25名養成する。	
2 受講者数	30名	30名	15名					
国府補助	—			予算・決算額(歳出)		—	—	—
位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額		—	—	—

## 消防本部 予防課

施策 2		消防用設備規制		
SDGsとの関係	G11都市			
	—			
	—			
	—			
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている		
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である		
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている		
目的	確認申請時及び建築協議において、消防用設備等を法令に適合するよう指導すると共に、立入査察等で判明した消防用設備等法令違反に対する是正指導を行う			
今年度の目標	消防法令及び関係通知等に基づく適切な指導を行う 立入検査において消防設備の維持管理について指導を行うと共に、不備に対する改善指導を行う			
関連する法令等	法令	消防法・建築基準法		
	条例・規則	交野市火災予防条例・交野市火災予防条例施行規則・大阪府建築基準法施行条例		
	計画	交野市総合計画・実施計画		
	要綱等	交野市消防査察要綱・交野市消防同意審査要領		
	業務マニュアル	防火対象物立入検査マニュアル		
	ネットワーク	大阪府・大阪府下消防本部		

事業 1		立入査察		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	防火対象物への立入査察の実施により火災を予防すると共に消防法令に並びに火災予防条例に基づく指導を行う		1 立入査察件数	30件	50件	32件
				2 違反是正	15件	11	11
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 2		消防同意事務		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	建築確認等について消防法に基づく消防同意事務		1 確認申請	50件	57件	64件
				2 許可申請	25件	17件	20件
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 3		消防用設備等届出・審査		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	消防用設備等の設置に係る届出の審査事務及び完成検査に基づく検査済証の発行		1 着工・設計届	80件	64件	110件
				2 完成検査	80件	83件	89件
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—



**消防本部 予防課**

**施策 2**

**消防用設備規制**

事業 4		防火対象物関係事務			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
					維持・継続	概要	各種届出の受理、防火対象物定期点検制度及び消防用設備点検報告制度の普及啓発	
2 普及啓発	50件	50件	32件					
国府補助	—			予算・決算額(歳出)		—	—	—
位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額		—	—	—

**消防本部 予防課**

<b>施策 3</b>		<b>危険物規制</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくともするよう備えている	
目的	消防法及び火災予防条例等に基づき危険物の規制を行い、危険物による災害の予防と被害の軽減を図る		
今年度の目標	製造所等における許可審査及び危険物施設への立入査察を行い施設の維持管理指導及び貯蔵取扱いに関する指導を行う 防火対象物への立入検査を行い危険物の貯蔵取扱いについて指導を行う		
関連する法令等	法令	消防法	
	条例・規則	交野市火災予防条例・交野市火災予防条例施行規則・交野市危険物規制規則・消防関係手数料条例	
	計画	交野市総合計画・実施計画	
	要綱等	交野市消防査察要綱・火災予防違反処理要綱	
	業務マニュアル	危険物施設査察マニュアル	
	ネットワーク	大阪府下消防本部	

<b>事業 1</b>		<b>立入査察</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	立入査察を行い、危険物施設の維持管理危険物の適切な貯蔵取扱いについて指導防火対象物に対する無許可貯蔵・取扱い等の是正指導		1 立入査察件数	20件	10件	14件
				2 違反是正	10件	3件	3件
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 2</b>		<b>製造所等の許可等</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	危険物施設の許可、認可、承認各種申請に対する審査		1 許可件数	5件	5件	9件
				2 届出件数	71件	71件	81件
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 3</b>		<b>危険物施設の検査</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	完成検査等各種届出に基づく検査の実施及び検査済証の発行事務		1 完成検査件数	4件	4件	7件
				2 変更完成検査件数	1件	1件	2件
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

**消防本部 予防課**


**施策 3**

**危険物規制**

事業 4		危険物手数料事務			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	消防関係手数料条例に定める手数料事務			1	手数料件数	15件	15件	20件
					2	手数料	242千円	241千円	309千円
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)		—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額		—	—	—

事業 5		少量危険物等の適正指導			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	火災予防条例に基づく少量危険物・指定可燃物の届出受理及び適正指導			1	少量危険物届出件数	3件	3件	15件
					2	指定可燃物届出件数	1件	0件	0件
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)		—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額		—	—	—

消防本部 予防課

施策 4		保安3法規制	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	高圧ガス・液化石油ガス・火薬類の規制を法令に基づき行い火災予防に努める		
今年度の目標	立入査察と保安検査の実施により施設の維持管理について、法令に適合するよう指導を行う		
関連する法令等	法令	高圧ガス保安法・液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法・火薬類取締法	
	条例・規則	高圧ガス保安法施行細則・液化石油ガス保安の確保及び取引の適正化に関する法律細則・火薬類取締法施行細則	
	計画	交野市総合計画・実施計画	
	要綱等	保安3法関係査察要綱	
	業務マニュアル	保安3法関係取締法マニュアル	
	ネットワーク	大阪府・大阪府下消防本部	

事業 1		立入査察		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	高圧ガス保安法・液石法・火取法に基づき施設の維持管理等についての指導	1	立入査察件数	21件	21件	21件
			2	違反是正	10件	2件	2件
	国府補助	大阪府産業保安行政事務移譲交付金		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 2		保安検査		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	高圧ガス保安法・液石法・火取法に基づく保安検査	1	検査件数	1件	1件	1件
			2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 3		保安3法に係る許可・検査		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	高圧ガス法・液石法・火取法に基づく製造・貯蔵等に係る許可審査及び検査済証発行事務	1	許可件数	1件	1件	2件
			2	検査件数	1件	1件	2件
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

**消防本部 予防課**


**施策 4**

**保安3法規制**

事業 4		保安3法手数料事務			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	消防関係手数料条例に基づく手数料事務			1	手数料件数	1件	1件	5件
					2	手数料	41千円	41千円	97千円
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)		—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額		—	—	—

事業 5		保安3法に係る事務			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	各種届出の受理、法令順守の啓発指導、大阪府産業保安行政事務移譲交付金事務			1	届出件数	26件	26件	38件
					2				
	国府補助	大阪府産業保安行政事務移譲交付金			予算・決算額(歳出)		—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額		239千円	239千円	349千円


**消防本部 警防課**

<b>施策 1</b>		<b>警防体制の充実</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	発生する災害に現有消防力で警防活動が適切に行われるよう警防体制の充実を図る。		
今年度の目標	警防計画の整備に努め、警防体制の充実・強化を図る。		
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法	
	条例・規則	交野市消防本部警防規程、交野市火災予防条例	
	計画		
	要綱等	警防計画作成要綱・要領	
	業務マニュアル	府下広域災害応援マニュアル	
	ネットワーク		

<b>事業 1</b>		<b>警防計画の作成</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	多数の人命危険、安全管理上特に注意を要する警防計画		1 計画運用数	42件	39件	—
				2 計画作成件数	3件	4件	15件
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 2</b>		<b>感染性等対策</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	パンデミック(大規模感染症)等の警防体制の充実強化及び資機材の備蓄管理		1 備蓄量	1,000着	1,000着	1,000着
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	231千円	230千円	205千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

**消防本部 警防課**

<b>施策 2</b>		<b>消防車両・資機材の充実強化</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている
		68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている
目的		資機材整備計画に基づき老朽化した資機材を更新し、消防力の充実強化を図る。	
今年度の目標		資機材等の更新	
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法、電波法	
	条例・規則		
	計画	資機材整備計画	
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク		

<b>事業 1</b>		<b>消防車両の整備・更新</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	消防車両整備計画に基づき消防車両を整備、更新		1	更新車両数	—	1台
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	34,540千円	9,570千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 2</b>		<b>消火資機材の維持・向上</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	消火活動に必要な資機材の維持、メンテナンス、修理、更新		1	保有資器材数	367	367
				2	点検、修理数	12	14
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	2,553千円	3,062千円	3,915千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 3</b>		<b>救急資機材の維持・向上</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	救急活動に必要な資機材の維持、メンテナンス、修理、更新		1	保有資機材数	380	378
				2	点検・修理数	30	25
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	6,051千円	6,760千円	6,512千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

**消防本部 警防課**

**施策 2**


**消防車両・資機材の充実強化**

事業 4		救助資機材の維持・向上			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
					維持・継続	概要	救助活動に必要な資機材の維持、メンテナンス、修理、更新	
2 点検、修理数	30	33	34					
国府補助	—			予算・決算額(歳出)		3,759千円	3,421千円	3,789千円
位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額		—	—	—

事業 5		無線設備の維持・向上			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
					維持・継続	概要	基地局、移動局無線の維持、メンテナンス、修理、及び無線免許の更新	
2 署活系無線保有数(移動局)	30台	30台	30台					
国府補助	—			予算・決算額(歳出)		7,529千円	6,879千円	6,677千円
位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額		—	—	—




**消防本部 警防課**

<b>施策 3</b>		<b>応援・受援体制の充実</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		66 災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	68 災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている
目的		交野市において大規模災害発生時に素早く対応できるように連絡体制を整える。	
今年度の目標		応援時、人員確保、資機材の充実。	
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法	
	条例・規則	交野市消防本部警防規程	
	計画	緊急消防援助隊大阪府大隊等応援等実施計画、大阪府緊急消防援助隊受援計画 土砂・風水害に対応する緊急消防援助隊大阪府大隊の編成計画、交野市消防本部受援計画	
	要綱等	緊急消防援助隊の運用に関する要綱、緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱	
	業務マニュアル	府下広域災害応援マニュアル	
	ネットワーク		


<b>事業 1</b>		<b>応援・受援体制の充実</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	緊急消防援助隊及び大阪府下広域 応援時の資機材整備		1 訓練への参加	—	1件	—
				2 計画の見直し	—	—	1件
				3 整備資機材数	3件	—	—
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	30千円	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

**消防本部 警防課**

施策 4		防火対策の推進	
SDGsとの関係	G11都市	 11 住み続けられるまちづくりを	
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		67 火災や事故、犯罪が少なく安心である	
		68 災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的		住宅火災による死者のうち約7割以上が高齢者であることから、高齢者宅からの火災による死者数の減少と被害の軽減を目的に啓発活動を実施。	
今年度の目標		消防団、関係機関と連携し、高齢者への防火診断を実施。	
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法	
	条例・規則	交野市消防本部警防規程、交野市火災予防条例	
	計画		
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク		

事業 1		防火診断		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	高齢者宅からの火災による死者の減少と被害の軽減を目的に啓発活動を実施		1 防火診断数	200件	540件	477件
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

**消防本部 警備課**

<b>施策 1</b>		<b>消火体制の充実強化</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速的確な消火活動を行うための体制を整え、市民の生命、身体、財産の保全に努める。</li> <li>・火災の原因を究明し、その結果を消防行政に反映させて活用する。</li> </ul>		
今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑多様化する火災に対応するために消火戦術等の錬磨を行う。</li> <li>・火災原因調査結果を消防行政に反映させて活用する。</li> </ul>		
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法、消防力の整備指針	
	条例・規則	交野市火災予防条例、交野市消防本部火災原因調査規程、交野市消防本部損害調査規程	
	計画		
	要綱等	交野市消防本部火災関係書類作成要領、交野市消防再燃火災防止事務処理要綱、り災証明発給要綱	
	業務マニュアル	火災予防条例第68条関係受付マニュアル	
	ネットワーク	東ブロック消防長会火災調査業務推進会、大阪府下火災調査ネットワーク	

<b>事業 1</b>		<b>消火技術、戦術の向上</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	火災発生時の消火等の活動や、出動時に迅速かつ的確な活動を行うための訓練の実施		1 火災件数	—	12件	18件
				2 訓練回数	173回	187回	150回
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	5千円	0千円	0千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 2</b>		<b>消火隊員の教育</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	消火活動に必要な知識、技術の修得及びフィードバック		1 フィードバック研修回数	17回	18回	15回
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	20千円	0千円	14千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 3</b>		<b>火災の原因等の調査</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	火災の原因等を調査し予防施策及び警防対策上の資料として類似火災の防止と被害の軽減等を図る		1 調査件数	—	12件	22件
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	26千円	2千円	0千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

**消防本部 警備課**


**施策 1**

**消火体制の充実強化**

事業 4		り災証明書等発給事務			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	申請者へり災証明書等を発給			1 発給件数	—	3件	13件
	国府補助	—			2			
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	予算・決算額(歳出)	—	—	—
					うち国府負担額	—	—	—

事業 5		火災予防条例事務			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	火災予防条例を市民へ啓発し、火煙上昇、道路工事、露店の開設、催物開催等の届出事務			1 啓発回数	—	68回	89回
	国府補助	—			2 届出受付件数	—	106件	175件
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	予算・決算額(歳出)	16千円	0千円	0千円
					うち国府負担額	—	—	—

**消防本部 警備課**

<b>施策 2</b>		<b>救急体制の充実強化</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	救命率の向上		
今年度の目標	救命率の向上のため研修や資格取得及び隊員養成と市民への普及啓発		
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法、消防力の整備指針	
	条例・規則	交野市消防本部警防規程、交野市救急業務運用規程	
	計画		
	要綱等		
	業務マニュアル	救命講習受付マニュアル、挿管事務マニュアル、救命士保険加入マニュアル等	
	ネットワーク	北河内救急業務連絡協議会等	

<b>事業 1</b>		<b>救命率の向上</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	救急出動、訓練		1 救急件数	—	3,656件	3,380件
				2 訓練回数	144回	144回	144回
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 2</b>		<b>救急救命士・隊員の育成</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	救急救命士生涯育成プログラムの達成。地域連携、情報共有を図るため関係機関が開催する学習会へ参加。救命活動に必要な知識・技術習得のため、各種資格の取得及びフィードバック		1 救命士・救急隊員研修参加回数	45回	30回	15回
				2 フィードバック研修	68回	68回	72回
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	743千円	1,035千円	1,100千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 3</b>		<b>応急手当等の普及啓発</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	救命入門コース・普通救命講習Ⅰ・応急手当普及員養成講習・応急手当普及員再講習・上級救命講習を開催し市民へ普及する。救急車の適正利用の啓発		1 開催回数	80回	49回	36回
				2 配布枚数	4000枚	2800枚	2817枚
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	49千円	6千円	87千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—


消防本部 警備課

施策 2

救急体制の充実強化

事業 4		救急症例検討、検証会議			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	救急活動困難事案を事後検証、検討し救急業務の向上			1	検討(検証)会参加回数	24回	18回	14回
					2	検証票提出件数	50件	42件	46件
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	13千円	7千円	3千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	


**消防本部 警備課**

<b>施策 3</b>		<b>救助体制の充実強化</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	救助事案に対し迅速かつ的確な救助活動を行い市民の生命を守る。		
今年度の目標	救助技術の維持、向上		
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法、消防力の整備指針	
	条例・規則	交野市消防本部警防規程、交野市救助業務運用規程	
	計画		
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク	レスキューネットワークOSAKA	

<b>事業 1</b>		<b>救助技術の維持、向上</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	救助出動、署内訓練(山岳訓練・水難訓練)、他機関連携訓練(レスキューネットワーク訓練、東ブロック救助研修会)、他各種訓練参加		1 救助出動件数	—	35件	36件
				2 訓練回数	300回	250回	248回
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 2</b>		<b>救助隊員の教育</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	救助活動に必要な知識・技術習得のため各資格の取得及びフィードバック(クレーン、玉掛、ガス溶断、酸欠硫化水素、JPTEC講習等)並びに救助指導会出場		1 資格・派遣	26件	26件	21件
				2 フィードバック研修	30回	30回	24回
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	239千円	389千円	301千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

**消防本部 警備課**


<b>施策 4</b>		<b>通信体制の充実強化</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	災害通報の受付、伝達、情報収集等を的確に行いあらゆる災害へ迅速に対応を行う。		
今年度の目標	指令業務の共同運用に伴う連携を更に高め、あらゆる災害対応を迅速に実施。		
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法、消防力の整備指針	
	条例・規則	交野市消防本部警防規程、交野市消防無線電話運用規程	
	計画	緊急消防援助隊大阪府大隊応援(受援)実施計画	
	要綱等	枚方寝屋川消防組合と交野市消防本部との間における消防通信指令事務の委託に関する規約	
	業務マニュアル	府下広域災害応援マニュアル	
	ネットワーク		

<b>事業 1</b>		<b>通信指令体制の充実強化</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	共同運用に伴う枚方寝屋川消防組合との連携		1 調整会議	2回	2回	2回
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	79,910千円	79,000千円	72,239千円
	位置付け	選択	実施形態	直接・委託	うち国府負担額	—	—

<b>事業 2</b>		<b>大規模災害時の通信体制の充実</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	大阪府下広域消防相互応援協定、緊急消防援助隊大阪府大隊応援(受援)計画に基づき訓練の実施		1 訓練回数	12回	12回	12回
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—



**消防本部 警備課**

<b>施策 5</b>		<b>消防水利の維持管理</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	48	道路や公園など生活環境がきれいに保たれている	
	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	災害現場において消防水利を迅速かつ的確に使用できる状態に維持管理を行う。		
今年度の目標	適正な消防水利の維持・管理		
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法、消防力の整備指針、都市計画法、建築基準法	
	条例・規則	交野市火災予防条例、交野市消防本部警防規程	
	計画	消防施設等設置基準	
	要綱等	開発指導要綱、消防防災施設整備費補助金要綱	
	業務マニュアル	交野市火災予防条例第68条関係受付マニュアル	
	ネットワーク		

<b>事業 1</b>		<b>消火栓の維持管理</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	消火栓の点検、修理、看板の設置		1 点検数	360基	360基	426基
				2 修理数 (看板交換数)	12基 (120枚)	6基 (116枚)	7基 (125枚)
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	6,068千円	6,873千円	7,319千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 2</b>		<b>防火水槽の維持管理</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	防火水槽の点検、修理、看板の設置。災害により消火栓使用不可時の水利として耐震性防火水槽を整備		1 点検数	12基	12基	25基
				2 設置数 (看板交換数)	0基 (2枚)	1基 (1枚)	2基 (2枚)
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	1千円	9千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

<b>事業 3</b>		<b>パイプライン施設の維持管理</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	常時使用できるよう管内35ルートの施設を点検、補修		1 点検数	16ルート	16ルート	19ルート
				2 補修数	4か所	7か所	5か所
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	800千円	800千円	748千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—


**消防本部 警備課**

**施策 5**

**消防水利の維持管理**

事業 4		適切な消防水利の指導			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
					維持・継続	概要	消防施設等設置基準に基づき、消防水利を適切に設置する。	
2 水利等配置数	—	18基	6基					
国府補助	—			予算・決算額(歳出)		—	—	—
位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額		—	—	—

**消防本部 警備課**

<b>施策 6</b>		<b>警防査察の充実強化</b>	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	
	67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
目的	防火対象物へ査察を行い、関係者に防火、避難体制の周知を図る。また、査察対象物の実態を把握することにより、出火時の消防活動を容易にし、その被害を最小限にとどめる。		
今年度の目標	火災発生危険を未然に防ぐために、各防火対象物の関係者へ法令遵守を伝え防火管理の向上を促す。		
関連する法令等	法令	消防法、消防組織法、消防力の整備指針	
	条例・規則	交野市火災予防条例、交野市消防本部警防規程	
	計画		
	要綱等	交野市消防査察要綱	
	業務マニュアル		
	ネットワーク		

<b>事業 1</b>		<b>警防査察</b>		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	防火対象物の適正な管理指導		1	査察件数	50件	5件	44件
				2				
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—	
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—




令和4年度 実施計画書

# 会計室

# 会計室

1. 課の目的	
公金の安全確実かつ有利な管理及び保管を行うとともに、会計事務(審査・出納)の適正な執行と効率化に努める。	
2. 課の所掌する施策	
1 会計事務の執行	
3. 課の課題と解決に向けた取り組み	
課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・法令等解釈、事務処理対応、知識経験の必要な案件等の対応体制の平準化	・室内における相談・検討体制の構築、事務処理のマニュアル化・知識経験の共有化の推進
・審査・出納事務における大量の事務処理への対応	・財務会計システム等の活用や柔軟な協力体制による、正確性と効率化の推進
・金融機関の公金取り扱い業務にかかる各種経費の見直し	・金融機関との協議・意見交換と他自治体による対応事例の情報収集と連携
4. 業務のスマート化	
進める上での課題	取り組み内容
課内の情報の共有化	朝礼の実施、業務共有ツールの活用、マニュアルの作成
庁内他部署との連携や協力体制	支払スケジュールや会計事務知識の周知、提出書類の適正化

# 会計室

施策 1		会計事務の執行	
SDGsとの関係	G17パートナーシップ		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		76 市民も事業者も市の職員も、みんな楽しく汗をかいている	
		82 公共の施設の窓口が便利でわかりやすく親切である	
目的		法令等に基づき、現金、有価証券、物品等の出納及び保管や支出手続きの審査を適正かつ正確に行うとともに、公金の安全で効率的な資金運用を図る。	
今年度の目標		適切なスケジュール管理の下で、公金の出納及び保管や支出手続きの審査を適正かつ正確に行う。	
関連する法令等	法令	地方自治法	
	条例・規則	交野市財務規則	
	計画		
	要綱等	交野市公金口座振替収納事務取扱要綱	
	業務マニュアル	財務会計マニュアル、交野市会計事務の手引き、財務会計システム備品管理マニュアル、イージーバンクマニュアル、会計室における個人番号取扱規程	
	ネットワーク	金融機関、河北会計事務連絡会	

事業 1		会計事務		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	出納、審査、決算及び資金運用の事務を適正かつ効率的に行う。		1	—	—	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	57,274千円	18,240千円	12,185千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—





令和4年度 実施計画書

# 水道局

総務課

工務課

浄水課

# 水道局

## 運営方針

### 1. 部内組織

局長	松川 剛	構成課等	総務課	工務課
			浄水課	

### 2. 暮らしの夢(総合計画基本構想より)

11 つながり大切に、まちの職員がほどよく支える暮らし

### 3. 部の重点的な取り組み

中長期的にみた重点的取り組み	今年度の重点的取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹管路(導水・送水・配水管)の更新・耐震化</li> <li>・老朽化した給水管(鉛管)の取替</li> <li>・持続的な水道事業運営</li> <li>・広域連携(府域一水道)の検討</li> <li>・交野市水道ビジョンの定期的な見直し</li> <li>・「おいしい水」のPRなどによる水道水の利用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高区配水池送水管の更新・耐震化</li> <li>・配水管の更新・耐震化</li> <li>・老朽水管橋の点検</li> <li>・財政収支の均衡及び経営健全化の推進</li> </ul>

### 4. 施策の柱と目的

施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策	所管課等
水道事業の安全・持続	水道事業を適切に運営管理するため、安定した事業経営に努め、安心して飲用していただける「おいしい水」の安定供給を推進する。	水道事業の健全な運営	総務課
		安全でおいしい水道水の安定供給及び水質管理の確保	浄水課
水道事業の強靱化の推進	市民に安全でおいしい水を安定的に提供するため、基幹管路の耐震化を進める。	安心・安全な水道水の安定的供給	工務課

### 5. 部の課題と解決に向けた取り組み

部の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・管路施設の老朽化	・水道施設整備計画に基づく計画的な管路更新の実施
・人口減少等による給水収益の減少	・水道ビジョンに基づく経営戦略の推進
・専門技術の継承	・現場指導による技術継承と研修参加による自己研鑽

# 水道局

## 総務課

### 1. 課の目的

安心・安全な水道水を安定的に供給するため、健全な運営を持続する。

### 2. 課の所掌する施策

- 1 水道事業の健全な運営

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

#### 課の抱える課題・リスク

公営企業会計等の専門知識を要する業務が多く、習得、継承が必要。

交野市水道ビジョンに掲げる、持続的な水道事業運営に努める。

#### 課題解決に向けた取り組み

専門知識を有する外部事業者と連携を密にするとともに、研修等に参加し、業務知識の習得に努める。

財政収支均衡、経営健全化の実現のため、水道ビジョン及び審議会の答申を踏まえた事業運営を行う。

### 4. 業務のスマート化

#### 進める上での課題

専門知識を有する職員に限られるため、特定職員に負担が集中する。

#### 取り組み内容

課全体において業務知識の習得、共有化を図る。

## 工務課

### 1. 課の目的

市民に安全でおいしい水道水を、安定的に供給する。

### 2. 課の所掌する施策

- 1 安心・安全な水道水の安定的供給

### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

#### 課の抱える課題・リスク

市民に安全でおいしい水を安定的に提供する。

#### 課題解決に向けた取り組み

- ・基幹管路を含む老朽管の更新・耐震化を推進
- ・指定給水装置工事事業者(指定業者)の資質向上
- ・鉛製給水管の計画的な取替え
- ・漏水等の迅速な復旧作業

### 4. 業務のスマート化

#### 進める上での課題

事前協議、給水関係、調書関係業務が特定職員に業務が集中する。

緊急工事等迅速に対応するための経験、知識を有する職員が少ない。

#### 取り組み内容

- ・課内業務量の把握、係内業務の見直し、サポート体制の構築。
- ・知識の習得、マッピング集計システムの活用。
- ・マッピングシステムを活用することで、ある一定の経験不足を補う。
- ・技術者の育成、知識の習得。

# 水道局

## 浄水課

### 1. 課の目的

安全でおいしい水道水を持続的かつ安定的に供給する。

### 2. 課の所掌する施策

- 1 安全でおいしい水道水の安定供給及び水質管理の確保



### 3. 課の課題と解決に向けた取り組み

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
安定的に自己水を確保する為の水道施設の維持管理	日常的な点検、異常の早期発見により適切な修繕、整備を実施
災害時における初動体制及び対応の確立	災害対策訓練を実施しスキルアップを目指す
専門知識の技術継承及び高水準の技術保持	職場指導及び現場指導(OJT)の充実
持続可能な浄水処理の為のマニュアル整備	操作マニュアル等によるイメージトレーニング・ブラッシュアップ

### 4. 業務のスマート化

進める上での課題	取り組み内容
水道施設の効果的・効率的な点検のあり方	毎日点検及び月例点検等にかかる点検内容を精査
浄水・送水施設の運転及び水質管理に係る技術継承	専門技術職員による「設備学習会」等の技術継承 外部研修や講習会等への参加 研修内容の全課員への情報共有

水道局 総務課

施策 1		水道事業の健全な運営	
SDGsとの関係	G6水・衛生	 	
	G11都市		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	55	交野ブランドを求めて、人が集まり、まちが潤っている	
	56	もったいないという思いで限りある資源を大切にしている	
	79	おおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める	
目的	安心・安全な水道水を安定的に供給するため、健全な運営を継続する。		
今年度の目標	財政収支均衡、経営健全化の実現のため、水道ビジョン及び交野市水道事業経営審議会からいただいた答申を踏まえた事業運営を行う。		
関連する法令等	法令	水道法・地方公営企業法	
	条例・規則	交野市水道事業給水条例	
	計画	交野市水道ビジョン・水安全計画	
	要綱等	給水装置工事施工基準	
	業務マニュアル	営業業務マニュアル・苦情処理対応指針	
	ネットワーク	(社)日本水道協会、大阪広域水道企業団運営協議会、東部大阪水道協議会	

事業 1		企業会計業務		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	資金の管理運用及び人事・庁舎管理		1	—	—	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	176,794千円	121,525千円	160,122千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 2		水道料金の徴収		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	メーターの検針・調定・料金の徴収		1	料金徴収率	99.9%	99.9%
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	64,900千円	64,900千円	64,900千円
	位置付け	法定	実施形態	委託	うち国府負担額	—	—

事業 3		持続的な水道事業経営の実施		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	財政収支均衡、経営健全化の実現		1	供給単価 ／給水原価	82.6%	89.4%
				2	企業債残高 ／給水収益	849%	862%
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	—	—	—
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

## 水道局 工務課

施策 1		安心・安全な水道水の安定的供給	
SDGsとの関係	G6水・衛生		
	G9産業・イノベーション		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		68 災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	79 おおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める
目的		市民に安全でおいしい水を安定的に提供する。	
今年度の目標		経年管の耐震化、更新事業の推進 漏水復旧等の迅速な対応	
関連する法令等	法令	水道法・地方公営企業法	
	条例・規則	交野市水道事業給水条例	
	計画	交野市水道ビジョン・交野市水道施設整備計画	
	要綱等	給水装置工事施工基準	
	業務マニュアル	苦情処理対応指針、事件事故等対処指針	
	ネットワーク	(社)日本水道協会、大阪広域水道企業団運営協議会、東部大阪水道協議会	

事業 1		基幹管路の更新・耐震化		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	配水本管の更新 送水管の更新		1 基幹管路耐震化率	27.6%	27.2%	24.7%
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	26,005千円	412,357千円	176,466千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 2		面的老朽管整備		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	配水支管の更新 鉛製給水管の取替		1 全管路耐震化率	17.9%	17.5%	16.6%
				2 鉛管残存率	9.5%	9.6%	9.8%
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	87,000千円	122,905千円	63,461千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

事業 3		給配水施設の維持管理		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	給配水管維持工事、修繕		1 保存工事件数	200	200	247
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	83,606千円	82,556千円	67,911千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—



水道局 工務課

施策 1

安心・安全な水道水の安定的供給

事業 4		給水装置工事関係業務			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	給水装置工事申請受付、確認、検査 給水協議 給水装置工事事業者の指定及び指導等			1	給水装置申請 件数	720件	930件	743件
					2	給水協議件数	60件	66件	45件
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)		—	—	—
	位置付け	法定	実施形態	直接・委託	うち国府負担額		—	—	—

# 水道局 浄水課

施策 1		安全でおいしい水道水の安定供給及び水質管理の確保	
SDGsとの関係	G6水・衛生		
	G7エネルギー		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	55	交野ブランドを求めて、人が集まり、まちが潤っている	
	68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	
	79	おおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める	
目的	安全でおいしい水道水を持続的かつ安定的に供給する。		
今年度の目標	常に安全でおいしい水を供給するため、浄水処理・水質管理技術の向上につながる意識、行動を心掛け、業務に反映させる。		
関連する法令等	法令	水道法・水道法施行令・水道法施行規則	
	条例・規則	交野市水道事業給水条例	
	計画	交野市水道ビジョン・水安全計画・水質検査計画	
	要綱等		
	業務マニュアル	星の里浄水場運転管理マニュアル・水安全計画・SOP(水質試験標準作業書)	
	ネットワーク	(社)日本水道協会・大阪広域水道企業団運営協議会、東部大阪水道協議会・関西水道水質協議会	

事業 1		水道施設の維持管理		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	水道施設の適正な維持管理		1	—	7,800,000m <sup>3</sup>	7,743,248m <sup>3</sup>
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	375,286千円	362,183千円	386,516千円
	位置付け	選択	実施形態	直接・委託	うち国府負担額	—	—

事業 2		水質検査計画の推進		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	法令等に基づく水質検査及び水質監視		1	100%	100%	100%
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	19,377千円	19,098千円	18,589千円
	位置付け	法定	実施形態	直接・委託	うち国府負担額	—	—



令和4年度 実施計画書

# 議会事務局

# 議会事務局

## 運営方針

### 1. 部内組織

部 長	盛田 健一	構成課等	議会事務局
-----	-------	------	-------

### 2. 暮らしの夢(総合計画基本構想より)

11 つながり大切に、まちの職員がほどよく支える暮らし

### 3. 部の重点的な取り組み

中長期的にみた重点的取り組み	今年度の重点的取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局職員体制の充実</li> <li>職員の法務知識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会改革のサポート</li> <li>各常任委員会の所管事務調査のサポート</li> <li>議会運営業務の効率化</li> </ul>

### 4. 施策の柱と目的

施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策	所管課等
議会事務局事務	議会運営の補佐をするとともに議会の政策立案機能や監視機能への支援を行うものとし、あわせて議会と執行機関との調整及び議会と住民との媒介に努める。	議会事務局事務	議会事務局


### 5. 部の課題と解決に向けた取り組み

部の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>経験豊富な人材が少なく、専門知識が不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の共有化と報告・連絡・相談の徹底</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>議会のニーズへの迅速かつ的確な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的なスケジュール管理と事務の省力化</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国市議会議長会等との連携強化と、近隣各市の議会事務局との情報共有化</li> <li>内部学習会の開催、外部研修の活用による局員の知識向上</li> </ul>

# 議会事務局

1. 課の目的	
市民に開かれた議会を目指すべく、さまざまな情報を市民へ提供し、議会に対する市民の理解を深める。また、議会の機能強化を図るため、議会の政策立案機能や監視機能を支援すべく、議会事務局の調査・研究力を高める。あわせて、例外事例への柔軟な対応を図るとともに瑕疵のない議事運営に努めることにより、市政の伸展並びに市民等の生活及び福祉の向上に寄与することを目的とする。	
2. 課の所掌する施策	
1 議会運営の補佐	2 議会の政策立案機能や監視機能への支援
3 議会と執行機関との調整	4 議会と住民の媒介
3. 課の課題と解決に向けた取り組み	
課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
・経験豊富な人材が少なく、専門知識が不足	・情報の共有化と報告・連絡・相談の徹底
・議会のニーズに迅速かつ的確に対応	・効率的なスケジュール管理と事務の省力化
	・全国市議会議長会等との連携強化と、近隣各市の議会事務局との情報共有化
	・内部学習会の開催、外部研修の活用による局員の知識向上
4. 業務のスマート化	
進める上での課題	取り組み内容
時期によって業務量が大幅に増加するときがある。	組織内での想定業務量や期限等の共有を図る。

# 議会事務局

施策 1		議会事務局事務	
SDGsとの関係	G17パートナーシップ		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		77 暮らしに役立つ情報が、わかりやすく、すぐ手に入る	80 一人ひとりの悩みや思いが繋がってまちの施策になっている
目的		議会運営の補佐、議会の政策立案機能や監視機能への支援、議会と執行機関との調整、議会と住民の媒介	
今年度の目標		議会運營業務の効率化のため会議資料等のペーパーレス化の推進を図る。また、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中であっても様々なニーズに的確に対応できるよう取り組んでいく。	
関連する法令等	法令	地方自治法、地方自治法施行令	
	条例・規則	交野市議会基本条例、交野市議会会議規則、交野市議会委員会条例、交野市議会事務局設置条例、交野市議会事務局規程	
	計画		
	要綱等		
	業務マニュアル		
	ネットワーク	全国市議会議長会、近畿市議会議長会、大阪府市議会議長会、河北市議会議長会等	

事業 1		議会事務局事務		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	議会運営の補佐をするとともに議会の政策立案機能や監視機能への支援を行うものとし、あわせて議会と執行機関との調整及び議会と住民との媒介に努める。		1	—	—	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	202,117千円	199,328千円	189,882千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	1,608千円	1,595千円

令和4年度 実施計画書

# 行政委員会事務局

# 行政委員会事務局

選挙管理委員会・監査委員・公平委員会・固定資産評価審査委員会の事務局

## 運営方針

### 1. 部内組織

局長	河野 宏甲	構成課等	選挙管理委員会事務局	公平委員会
			監査委員事務局	固定資産評価審査委員会

### 2. 暮らしの夢(総合計画基本構想より)

1 心も体もいきいきと、思いやり、心(情)の通う暮らし

### 3. 部の重点的な取り組み

中長期的にみた重点的取り組み	今年度の重点的取り組み
<p>業務の専門性を維持・増進し、法令に基づいた各委員会の担う職務をより有効・適切に執行する。</p> <p>①選挙管理委員会:適切な選挙の執行と住民の政治意識の向上及び投票率の向上をめざす。</p> <p>②監査委員:市の行政運営の適法性、効率性、経済性、妥当性を確保する監査を実施する。</p> <p>③公平委員会:専門性の維持向上と事案対応のための知識の研鑽</p> <p>④固定資産評価審査委員会:専門性の維持向上と事案対応のための知識の研鑽</p>	<p>①選挙管理委員会:参議院議員通常選挙、市長選挙等が執行されるので、リスクを排除した確実な選挙事務執行を行う。</p> <p>②監査委員:法令等の規定に基づき、適切な監査を行う。</p> <p>③公平委員会:研修会に参加し知識を高めるとともに、審査請求等の事案に対し、適正な審査・裁決を行う。</p> <p>④固定資産評価審査委員会:固定資産評価審査申出に対し適正な審査・決定を行う。</p>

### 4. 施策の柱と目的

施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策	所管課等
選挙管理委員会事務局	公職選挙法に基づき、選挙事務を適切に執行・管理する。また、明るい選挙推進協議会とともに、選挙に関する啓発、周知等を行い、住民の政治意識の向上を目指す。	選挙管理委員会事務	選挙管理委員会事務局
監査委員事務局	市の行政運営の適法性、効率性、経済性、妥当性の確保のため、法令等に基づき、各種監査・審査、検査を実施する。	監査委員事務	監査委員事務局
公平委員会事務局	公正公平な人事行政確保のため、法令に基づく公平委員会事務を実施する。	公平委員会事務	公平委員会
固定資産評価審査委員会事務局	公正な税務行政確保のため、固定資産評価額に対する審査申出について、法令に基づき審査決定する。	固定資産評価審査委員会事務	固定資産評価審査委員会

### 5. 部の課題と解決に向けた取り組み


部の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
選挙事務は、一つの事務ミスが選挙全体の効力に影響を与える可能性のある事務であり、間違いが許されない性質を持つため、選挙事務の執行については、より一層適正・入念な事務執行管理が必要である。	公職選挙法関係の研鑽を常に図るとともに、選挙時に選挙事務従事者等に対し選挙の趣旨、投開票の事務手続き等、説明会を入念に実施する。
事務局兼務の関係で、選挙執行時には他の委員会事務が影響を受けるという構造的な課題がある。	他の委員会事務に影響が可能な限り生じないよう、管理職職員を含めた全職員で事務執行分担・応援体制をとる。

# 行政委員会事務局

選挙管理委員会事務局・監査委員事務局・公平委員会・固定資産評価審査委員会

1. 課の目的	
<p>所管する各委員会の業務を法令に基づき遂行するため、各委員会委員とともに事務局職員一人ひとりが専門性を高める。</p> <p>選挙管理委員会事務局は、選挙に関する事務を実施するとともに、選挙に関する啓発、周知活動を明るい選挙推進協議会と共同し、実施する。</p> <p>監査委員事務局は、市の行政運営の適法性、効率性、経済性、妥当性の確保のため監査を実施し、住民の福祉の増進に資することを目的とする。</p> <p>公平委員会は、公正・公平な人事行政確保のため、法令に基づく公平委員会事務を実施する。</p> <p>固定資産評価審査委員会は、公正な税務行政確保のため、固定資産評価額に対する審査申出について、法令に基づき審査決定する。</p>	
2. 課の所掌する施策	
1 選挙管理委員会事務	2 監査委員事務
3 公平委員会事務	4 固定資産評価審査委員会事務
3. 課の課題と解決に向けた取り組み	
課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
選挙事務は、一つの事務ミスが選挙全体の効力に影響を与える可能性のある事務であり、間違いが許されない性質を持つため、選挙事務の執行については、より一層適正・入念な事務執行管理が必要である。	公職選挙法関係の研鑽を常に図るとともに、選挙時に選挙事務従事者等に対し選挙の趣旨、投開票の事務手続き等、説明会を入念に実施する。
複数の事務局を兼務する関係から、選挙執行時には他の委員会事務が影響を受けるという構造的な課題がある。	他の委員会事務に影響が可能な限り生じないよう、管理職職員を含めた全職員で事務執行分担・応援体制をとる。
4. 業務のスマート化	
進める上での課題	取り組み内容
会議後の議事録の作成に、時間を要している。録音を聞き直しながらの作業となると、会議時間以上の時間を要する。	会議録作成ソフトの導入などを検討する。

行政委員会事務局 選挙管理委員会事務局

施策 1		選挙管理委員会事務	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	19	困ったとき何でも気軽に相談できるところがある	
	29	一人ひとりの違いをお互いに尊重しあい、差別なく暮らしている	
	76	市民も事業者も市の職員も、みんなで楽しく汗をかいている	
目的	法律に基づき、選挙に関する事務及びこれに関係のある事務を執行・管理する。		
今年度の目標	複数の選挙執行が予定されているので、リスクを排除した確実な選挙事務を執行する。		
関連する法令等	法令	公職選挙法	
	条例・規則	交野市議会議員及び交野市長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例、選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例等	
	計画		
	要綱等	交野市選挙人名簿の抄本の閲覧に関する要綱等	
	業務マニュアル	選挙執行に関する業務マニュアル等	
	ネットワーク	明るい選挙推進協議会	


事業 1		地方選挙及び国政選挙の執行		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	選挙に関する事務の執行管理		1	—	—	—
				2			
	国府補助	選挙費委託金		予算・決算額(歳出)	108,666千円	26,277千円	714千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	76,436千円	26,277千円

事業 2		選挙管理委員会関係		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	選挙管理委員会の開催、選挙人名簿の管理等を行う。		1	—	—	—
				2			
	国府補助	在外選挙人名簿登録事務委託金		予算・決算額(歳出)	1,865千円	4,341千円	2,303千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	20千円	20千円

事業 3		明るく正しい選挙の推進		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	日常的な選挙啓発活動、明るい選挙啓発ポスターコンクールの開催等の選挙に関する啓発、周知活動を明るい選挙推進協議会とともに実施する。また、学校等の主権者教育への支援を行う。		1	—	—	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	396千円	139千円	228千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—




**行政委員会事務局      監査委員事務局**

施策 2		監査委員事務	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	19	困ったとき何でも気軽に相談できる場所がある	
	29	一人ひとりの違いをお互いに尊重しあい、差別なく暮らしている	
	76	市民も事業者も市の職員も、みんなで楽しく汗をかいている	
目的	市の行政運営の適法性、効率性、経済性、妥当性の確保のため、各種監査・審査等を実施する。		
今年度の目標	法令等の規定に基づき、適切な監査を実施する。		
関連する法令等	法令	地方自治法	
	条例・規則	交野市監査委員条例	
	計画		
	要綱等	交野市監査基準	
	業務マニュアル	監査業務に関する業務マニュアル等	
	ネットワーク		


事業 1		法令等に基づく各種監査の実施		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	市の行政運営の適法性、効率性、経済性、妥当性の確保のため、法令等の規定に基づき各種監査、審査等を実施する。		1	—	—	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	2,006千円	1,819千円	1,768千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

行政委員会事務局 公平委員会

施策 3		公平委員会事務	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	19	困ったとき何でも気軽に相談できる場所がある	
	29	一人ひとりの違いをお互いに尊重しあい、差別なく暮らしている	
	76	市民も事業者も市の職員も、みんなで楽しく汗をかいている	
目的	公正・公平な人事行政確保のため、法令に基づく公平委員会事務を実施する。		
今年度の目標	研修会に参加し知識を高めるとともに、審査請求等の事案に対し、適正な審査・裁決を行う。		
関連する法令等	法令	地方公務員法	
	条例・規則	交野市公平委員会設置条例、不利益処分についての審査請求に関する規則等	
	計画		
	要綱等		
	業務マニュアル	不利益処分審査請求マニュアル等	
	ネットワーク		

事業 1		公平委員会関係		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	公正公平な人事行政の確保のため、不利益処分に関する審査請求や勤務条件に関する措置要求に係る審査等、法令に基づく公平委員会事務を実施する。		1	—	—	—
				2			
	国府補助	—		予算・決算額(歳出)	599千円	139千円	125千円
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—

行政委員会事務局 固定資産評価審査委員会

施策 4		固定資産評価審査委員会事務	
SDGsとの関係	G11都市		
	—		
	—		
	—		
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	19 困ったとき何でも気軽に相談できる場所がある		
	29 一人ひとりの違いをお互いに尊重しあい、差別なく暮らしている		
	76 市民も事業者も市の職員も、みんなで楽しく汗をかいている		
目的	公正な税務行政確保のため、固定資産評価額に対する審査申出について、法令に基づき審査決定する。		
今年度の目標	固定資産評価審査申出に対し、適正な審査・決定を行う。		
関連する法令等	法令	地方税法	
	条例・規則	交野市固定資産評価審査委員会条例	
	計画		
	要綱等		
	業務マニュアル	審査申出マニュアル	
	ネットワーク		

事業 1		固定資産評価額についての審査申出に関する審査決定		活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	公正な税務行政確保のために、固定資産評価額に対する審査申出について、法令に基づき審査決定する。	1	—	—	—	—
			2				
	国府補助	—	予算・決算額(歳出)	319千円	242千円	23千円	
	位置付け	法定	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—




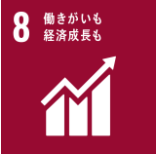



令和4年度 実施計画書

# 新庁舎整備室

# 新庁舎整備室


1. 課の目的	
公共施設等再配置計画に基づき、優先的な取組とされている市役所及び青年の家について、機能の集約化等を図り、現状の課題解決に向けて、新庁舎の整備を推進するとともに、市長戦略で掲げる寺作業所跡地を活用したスポーツ施設の整備について推進していく。	
2. 課の所掌する施策	
1 新庁舎整備の推進	2 寺作業所跡地を活用したスポーツ施設の整備
3. 課の課題と解決に向けた取り組み	
課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
公共施設サービスの向上	市民協働による推進
多様化する市民ニーズへの対応	複合施設における配置及び利用方法の工夫
高騰する建設費への対応	コスト削減への取組
新たな感染症への対応	感染拡大防止を意識した施設の検討
働き方改革の推進	ICTの活用を想定した施設の検討
4. 業務のスマート化	
進める上での課題	取り組み内容
供覧資料が多い	メールのラベル機能を活用し、個別に確認状況を把握
庁舎整備に向けた効率的な窓口サービス等の検討	市民サービスの利便性向上及び職場環境の改善を図るため、窓口レイアウト等を検討

# 新庁舎整備室

施策 1		新庁舎整備の推進				
SDGsとの関係	G7エネルギー					
	G8成長・雇用					
	G9産業・イノベーション					
	G11都市					
	G17パートナーシップ					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)	68 災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている 81 公共の施設がいろいろな市民の活動に利用されている 82 公共の施設の窓口が便利でわかりやすく親切である					
目的	市民の役に立つところであり、防災マネジメントの拠点としての新庁舎整備を推進するとともに、集約化等に伴う跡地の活用について、関係課とともに検討を進めていく。					
今年度の目標	新たな感染症にも対応した庁舎のあり方を含め、公共施設等再配置計画及び庁舎整備基本構想で整理した理念に基づき、庁舎整備基本計画の策定を目指す。					
関連する法令等	法令					
	条例・規則					
	計画	第四次交野市総合計画基本構想、交野市公共施設等総合管理計画、交野市公共施設等再配置計画、市長戦略、交野市庁舎整備基本構想、交野市都市計画マスタープラン				
	要綱等					
	業務マニュアル					
	ネットワーク					

事業 1		庁舎整備の推進			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績
維持・継続	概要	新たな感染症にも対応した庁舎のあり方を含め、公共施設等再配置計画及び庁舎整備基本構想で整理した理念に基づき、庁舎整備基本計画の策定を目指す。			1 庁舎整備基本計画の策定	策定	—	—
					2			
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	3,885千円	7,334千円	8,744千円
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—

## 新庁舎整備室

施策 2		寺作業所跡地を活用したスポーツ施設の整備				
SDGsとの関係	G3保健					
	G4教育					
	G11都市					
	G17パートナーシップ					
	—					
“かたのサイズ”をめざす像(主なもの)		4	運動を心がけ、健康が維持できるよう体力を養っている			
		6	趣味や生きがいをもち日々楽しく心が充実している			
		26	いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる			
目的		未利用地を活用し、健康寿命の延伸や生涯スポーツの機会提供を実現するため、寺作業所跡地を活用したスポーツ施設の整備を目指す。				
今年度の目標		寺作業所跡地の整備に向け、造成・施設工事の実施設計を実施するとともに、スポーツ施設整備の実現を目指す。				
関連する法令等	法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、土壌汚染対策法、スポーツ基本法				
	条例・規則					
	計画	第四次交野市総合計画基本構想、市長戦略、交野市生涯学習基本計画、交野市地域防災計画				
	要綱等	最終処分場跡地形質変更に係る施行ガイドライン				
	業務マニュアル					
	ネットワーク	交野市体育協会、寺区・寺財産区				

事業 1		スポーツ施設整備の推進			活動指標	R4年度目標	R3年度見込	R2年度実績	
維持・継続	概要	未利用地となっている寺作業所跡地を活用して、市長戦略に掲げるスポーツ施設整備の実現を目指す。			1	整備の実現	実施設計	基本設計	観測孔設置 水質調査等
					2				
	国府補助	—			予算・決算額(歳出)	6,044千円	16,000千円	5,372千円	
	位置付け	選択	実施形態	直接実施	うち国府負担額	—	—	—	



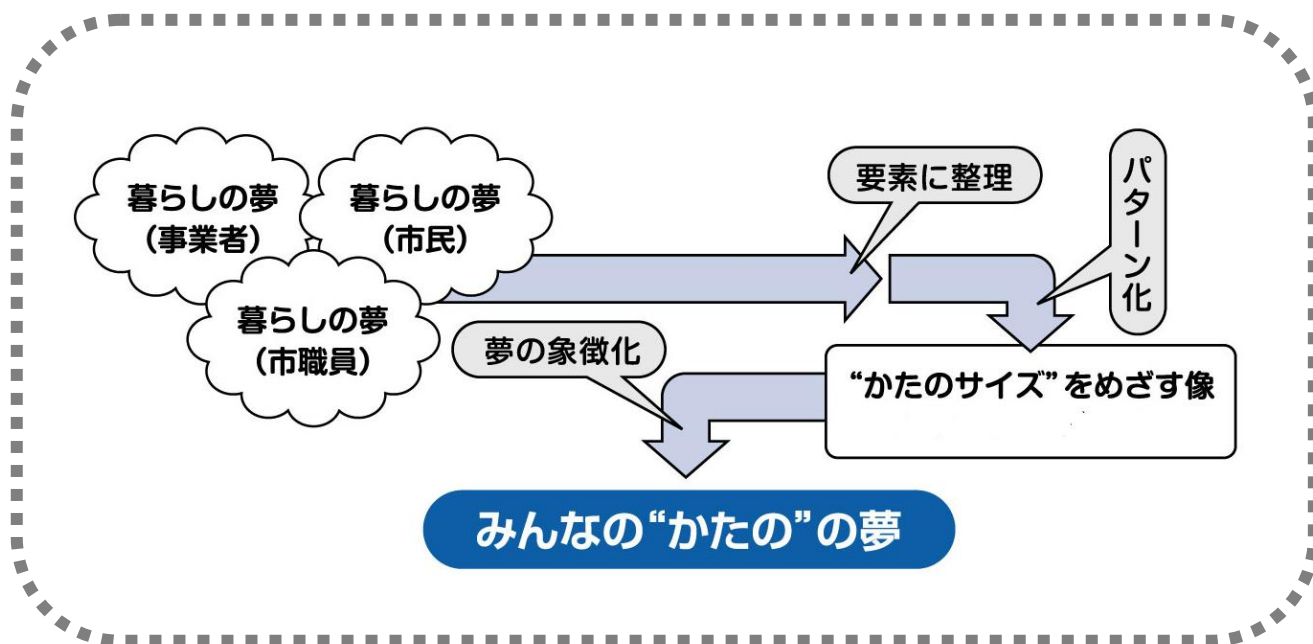
## 参考資料

1. 暮らしの夢
2. “かたのサイズ” をめざす像
3. S D G s の 17 のゴールと自治体行政の関係

# 1. 暮らしの夢

(第四次交野市総合計画基本構想「みんなの“かたの”基本構想」より)

1. 心も体もいきいきと、思いやり、心（情）の通う暮らし
2. 福祉が充実し、「お互い様」と助け合える人の「わ（和・輪）」に支えられた暮らし
3. 子どもや若者が、それぞれの個性を育み、のびのびと遊び、学ぶ暮らし
4. 多様な人とふれあい、文化と人権意識を育む明るく楽しい暮らし
5. 地域の歴史や自然と親しみ、もてなしの心をもった暮らし
6. 身近な緑を愛し、守り、育て、自然との共生を楽しむ暮らし
7. 農地・食文化を大切にした地産地消の暮らし
8. 第二京阪道路をいかした、にぎわいのある暮らし
9. 地球環境に思いをはせ、我がまちは我が手で守る暮らし
10. まちが働く舞台となり、みんながつながる元気な暮らし
11. つながり大切に、まちの職員がほどよく支える暮らし



## 2. “かたのサイズ”をめざす像

(第四次交野市総合計画基本構想「みんなの“かたの”基本構想」より)

No.	“かたのサイズ”をめざす像	活動の担い手(例)				
		市民	地域	団体	事業者	行政
1	家族や友だちが近くで暮らしていて、互いに心強い	☆			△	○
2	体の中から健康でいたいので、食を大切にしている	☆			☆	△
3	スポーツを通して、仲間意識を育み感動を分かち合っている	☆		○		△
4	運動を心がけ、健康が維持できるよう体力を養っている	☆	△	△	△	△
5	働くことと、家族や人生などとのバランスを大切にしている	☆			△	△
6	趣味や生きがいをもち日々楽しく心が充実している	☆	△	△	△	△
7	マナーを守り、周りに迷惑になることをしないよう心がけている	☆	○	○	○	△
8	地域がふれあいに満ちていて笑顔が自然とわいてくる	○	☆	△		△
9	五感を大切に、情緒豊かな時間を味わっている	☆	△	△		△
10	ボランティアや地域活動などに参加して、やりがいがある	☆	○	○	△	△
11	困難を抱えている人をみんなで支えあっている	○	○	○	○	○
12	安心して子どもを生み育てることができる	○	○	○	○	○
13	住み慣れた家で暮らし続けることができる	☆	△	△	△	△
14	福祉施設や専門の支援によって、暮らしが支えられている	○	△	△	☆	☆
15	ご近所と日ごろから「お互い様」と思いやるつながりがある	☆	☆	△		△
16	病気にならないよう予防や衛生環境に気をつけている	☆	△		△	△
17	かかりつけのお医者さんなど身近な医療機関があり、安心できる	○			☆	△
18	子どもたちの未来に明るい希望がある	○	○	○	○	○
19	困ったとき何でも気軽に相談できるところがある	○	○	○	○	○
20	子どもたちが、しっかりとした基礎学力を身につけている	○				☆
21	様々な人の経験や技が、子どもたちの興味、関心を引き起こしている	○	○	○	○	○
22	活動や資格取得など目的に合わせて多様な学びの場がある	○	△	△	△	○
23	地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている	○	○	△	△	○
24	まちなかに元気な子どもたちの笑顔があふれている	○	○	△	△	○
25	自ら興味や問題意識を持ってすすんで学んでいる	☆	△	△	△	△
26	いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる	○	○	○	△	○
27	いろんな世代の人同士が交流し、楽しく刺激しあっている	○	☆	☆		△
28	外国の人や異なる文化と交流し、理解と友好を深めている	○	△	☆		△
29	一人ひとりの違いをお互いに尊重しあい、差別なく暮らしている	○	○	○	○	○
30	いろんな活動をしている人が分野を超えて情報交換できる	○	○	☆	○	△
31	これまでに培った知識や経験が人の役にたっている	☆	△	△	△	△
32	遠くから多くの人を訪れてきて、出会いや交流がある	○	○	☆	○	○
33	暴力や虐待のない、思いやりのある暮らしをしている	○	○	○		○
34	新たな物語や話題などが、まちを舞台にして生まれている	○	○	○	○	○
35	まちの魅力が一層かがやくように、効果的に情報発信している	○	○	○	○	○
36	人それぞれにまちの魅力を語り口コミでどんどん広がっている	☆	△	△	△	△
37	歴史や文化財に触れてまちの魅力を再確認している	☆	○	○	○	△
38	まちをいろんな角度から学び、体験することができる	☆	○	○	△	△
39	地域ごとに豊かな個性があり、地元へ愛着を持っている	○	☆	○	△	△
40	まちのあるものを探して、磨いて、魅力を生み出している	○	○	○	○	○
41	まち中に、心地よいおもてなしのしつらえや雰囲気がある	○	○	○	○	○

☆：推進・・・自ら主体的に取り組む  
○：協働・・・目的を共有し担い合う  
△：支援・・・他者の実践を支援する

No.	“かたのサイズ”をめざす像	活動の担い手(例)				
		市民	地域	団体	事業者	行政
42	案内や散策ルートが多彩で、気軽にまち歩きが楽しめる	○	○	○	○	○
43	一年を通じてイベントがあり、それがつながりあっていて面白い	△	○	○	○	○
44	農園で、土にふれ、野菜づくりを楽しんでいる	○			○	○
45	まち中の身近な空間で、うるおいづくりに取り組んでいる	○	○	○	○	○
46	毎日の暮らしの中に、自然の恩恵を感じている	○	△	△	△	○
47	川や池など水辺環境がきれいで、潤いがある	○	○	○	△	○
48	道路や公園など生活環境がきれいに保たれている	○	○	○	○	○
49	里山の植生が豊かで大切な憩いの場となっている	○	△	○	△	○
50	自然の中では多様な生き物と触れ合うことができる	○	○	○	△	○
51	山も里も四季折々の景観が楽しみ風情を感じる	☆	○	○	○	○
52	地元の農産物が身近に売られ、食卓を彩っている	△	△	○	☆	△
53	農とふれあう機会があり、農業が身近に感じられる	☆		○	△	○
54	農業がまちの生業といえるほどに、みんなで支えている	○	○	○	○	○
55	交野ブランドを求めて、人が集まり、まちが潤っている	○	○	○	☆	○
56	もったいないという思いで限りある資源を大切にしている	☆	○	○	☆	☆
57	第二京阪道路の空間が暮らしの憩いの場となっている	○	△	△	△	△
58	第二京阪道路の沿道がまちと調和した新しい景観となっている	○	○	○	○	☆
59	まちなかの空き地や空き家をみんなで有効に活用している	△	○	○	○	○
60	第二京阪道路によってまちが活性化して潤っている	○	○	○	☆	☆
61	交通が便利で、どこへでも気軽に出かけている	○			☆	☆
62	安心して歩くことができる環境がある	○	○	○	○	☆
63	いろんなところで気軽に立ち話や道草が楽しめる	○	△	△	△	△
64	公害のない心地よく住める環境を守っている	△	△	△	☆	☆
65	地球の温暖化に気を配り環境にやさしい配慮をしている	☆	○	○	○	☆
66	災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている	○	○		○	☆
67	火災や事故、犯罪が少なく安心である	○	☆	○	○	☆
68	災害で被害を受けないよう、少なくするよう備えている	☆	○	○	○	☆
69	近くに働く場があり、時間にゆとりを持って暮らせる	○			☆	☆
70	まちで営まれている事業を、みんなで盛り上げている	△	△	△	☆	△
71	いろんな人が知恵を出し合って、新しいことが生まれている	○	○	○	☆	○
72	いろんな人や事業、活動がまちの魅力向上に一役買っている	△	△	△	△	○
73	事業をしている人同士が連携し、事業活動を活性化している			○	☆	△
74	暮らしに関する取り組みがビジネスを生み出している	○	○	○	☆	○
75	まちの魅力を一堂に集め、発信して、共感を呼んでいる	○	○	○	☆	○
76	市民も事業者も市の職員も、みんなで楽しく汗をかいている	○	○	○	○	○
77	暮らしに役立つ情報が、わかりやすく、すぐに手に入る	○	○	○	○	☆
78	気軽に話を聴いたり、したりする場が身近にある	○	○	○	○	○
79	おおいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める					☆
80	一人ひとりの悩みや思いがつながってまちの施策になっている	△	○	○	○	☆
81	公共の施設がいろいろな市民の活動に利用されている	○	○	○	○	☆
82	公共の施設の窓口が便利でわかりやすく親切である			○		☆

☆：推進・自ら主体的に取り組む  
○：協働・目的を共有し担い合う  
△：支援・他者の実践を支援する

### 3. SDGsの17のゴールと自治体行政の関係

「私たちのまちにとってのSDGs（持続可能な開発目標）－導入のためのガイドライン－」  
 （一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 発行）より引用

目標		自治体行政の果たし得る役割
	<b>G1 貧困</b>	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。 自治体行政は貧困で生活に苦しむ人々を支援する上で最も適したポジションにいます。各自治体において、すべての市民が必要最低限の暮らしを確保することができるよう、きめ細やかな支援策が求められています。
	<b>G2 飢餓</b>	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。 自治体は土地や水資源を含む自然資産を活用して農業や畜産などの食料生産の支援を行うことが可能です。そのためにも適切な土地利用計画が不可欠です。公的・私的な土地で都市農業を含む食料生産活動を推進し、安全な食料確保に貢献することもできます。
	<b>G3 保健</b>	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。住民の健康維持は自治体の保健福祉行政の根幹です。 国民皆保険制度の運営も住民の健康維持に貢献しています。都市環境を良好に保つことが住民の健康状態の維持・改善に必要であるという研究も報告されています。
	<b>G4 教育</b>	すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。 教育の中でも特に義務教育等の初等教育においては自治体が果たすべき役割は非常に大きいといえます。地域住民の知的レベルを引き上げるためにも、学校教育と社会教育の両面における自治体行政の取り組みは重要です。
	<b>G5 ジェンダー</b>	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化（エンパワーメント）を行う。 自治体による女性や子供等の弱者の人権を守る取り組みは大変重要です。また、自治体行政や社会システムにジェンダー平等を反映させるために、行政職員や審議会委員等における女性の割合を増やすのも重要な取り組みといえます。
	<b>G6 水・衛生</b>	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。 安全で清潔な水へのアクセスは住民の日常生活を支える基盤です。水道事業は自治体の行政サービスとして提供されることが多く、水源地の環境保全を通して水質を良好に保つことも自治体の大事な責務です。
	<b>G7 エネルギー</b>	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。 公共建築物に対して率先して省エネや再エネ利用を推進したり、住民が省/再エネ対策を推進するのを支援する等、安価かつ効率的で信頼性の高い持続可能なエネルギー源利用のアクセスを増やすことも自治体の大きな役割といえます。
	<b>G8 成長・雇用</b>	包摂的かつ持続可能な経済成長、及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。 自治体は経済成長戦略の策定を通して地域経済の活性化や雇用の創出に直接的に関与することができます。また、勤務環境の改善や社会サービスの制度整備を通して労働者の待遇を改善することも可能な立場にあります。
	<b>G9 産業・イノベーション</b>	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進、及びイノベーションの推進を図る。 自治体は地域のインフラ整備に対して極めて大きな役割を有しています。地域経済の活性化戦略の中に、地元企業の支援などを盛り込むことで新たな産業やイノベーションを創出することにも貢献することができます。

目標		自治体行政の果たし得る役割
	G10不平等	<p>各国内及び各国間の不平等を是正する。</p> <p>差別や偏見の解消を推進する上でも自治体は主導的な役割を担うことができます。少数意見を吸い上げつつ、不公平・不平等のないまちづくりを行うことが求められています。</p>
	G11都市	<p>包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。</p> <p>包摂的で、安全、レジリエントで持続可能なまちづくりを進めることは首長や自治体行政職員にとって究極的な目標であり、存在理由そのものです。都市化が進む世界の中で自治体行政の果たし得る役割は益々大きくなっています。</p>
	G12生産・消費	<p>持続可能な生産消費形態を確保する。</p> <p>環境負荷削減を進める上で持続可能な生産と消費は非常に重要なテーマです。これを推進するためには市民一人一人の意識や行動を見直す必要があります。省エネや3Rの徹底など、市民対象の環境教育などを行うことで自治体はこの流れを加速させることが可能です。</p>
	G13気候変動	<p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。</p> <p>気候変動問題は年々深刻化し、既に多くの形でその影響は顕在化しています。従来の温室効果ガス削減といった緩和策だけでなく、気候変動に備えた適応策の検討と策定を各自自治体で行うことが求められています。</p>
	G14海洋資源	<p>持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。</p> <p>海洋汚染の原因の8割は陸上の活動に起因しているといわれています。まちの中で発生した汚染が河川等を通して海洋に流れ出ることがないように、臨海都市だけでなくすべての自治体で汚染対策を講じることが重要です。</p>
	G15陸上資源	<p>陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。</p> <p>自然生態系の保護と土地利用計画は密接な関係があり、自治体が大きな役割を有するといえます。自然資産を広域に保護するためには、自治体単独で対策を講じるのではなく、国や周辺自治体、その他関係者との連携が不可欠です。</p>
	G16平和	<p>持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。</p> <p>平和で公正な社会を作る上でも自治体は大きな責務を負っています。地域内の多くの市民の参画を促して参加型の行政を推進して、暴力や犯罪を減らすのも自治体の役割といえます。</p>
	G17パートナーシップ	<p>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。</p> <p>自治体は公的／民間セクター、市民、NGO／NPOなどの多くの関係者を結び付け、パートナーシップの推進を担う中核的な存在になり得ます。持続可能な世界を構築していく上で多様な主体の協力関係を築くことは極めて重要です。</p>